

資 料 一 覧

- 次 第
- 第7回復興道路会議～福島県～ 配席図
- 復興道路会議～福島県～ 構成員
- 復興道路会議～福島県～ 規約
- 復興道路・復興支援道路の概要
- 復興道路・復興支援道路（福島県内の概要）
- 資料－1 復興道路・復興支援道路の各路線別進捗状況
- 資料－2 各事業区間の進捗状況
- 資料－3 復興道路・復興支援道路の「見える化」
【国土交通省の取り組み事例】
- 資料－4 事例発表【福島県】
- 資料－5 事例発表【東日本高速道路株式会社】
- 資料－6－1 事例発表【伊達市】
- 資料－6－2 事例発表【相馬市】
- 資料－6－3 事例発表【桑折町】
- 資料－6－4 事例発表【福島市】
- 資料－7 復興道路・復興支援道路の整備効果事例発信
- 資料－8 相馬福島道路 道路整備に関する懇談会
- 資料－9 福島・相馬・米沢商工会議所の連携した取り組み
- 資料－10 阿武隈東道路開通に伴う整備効果について

第 7 回 復 興 道 路 会 議 ～福島県～

日 時：平成 2 9 年 6 月 2 7 日（火）

1 3 : 3 0 ~

場 所：杉妻会館 4 階 牡丹の間

議 事 次 第

1. 挨 拶

国土交通省 東北地方整備局 道路部長
福島県 土木部長

2. 議 事

1) 復興道路・復興支援道路の今後の進め方
について

資料 1 ~ 3

2) 復興道路等を活かした地域振興支援策、
地域づくり事例の情報共有について

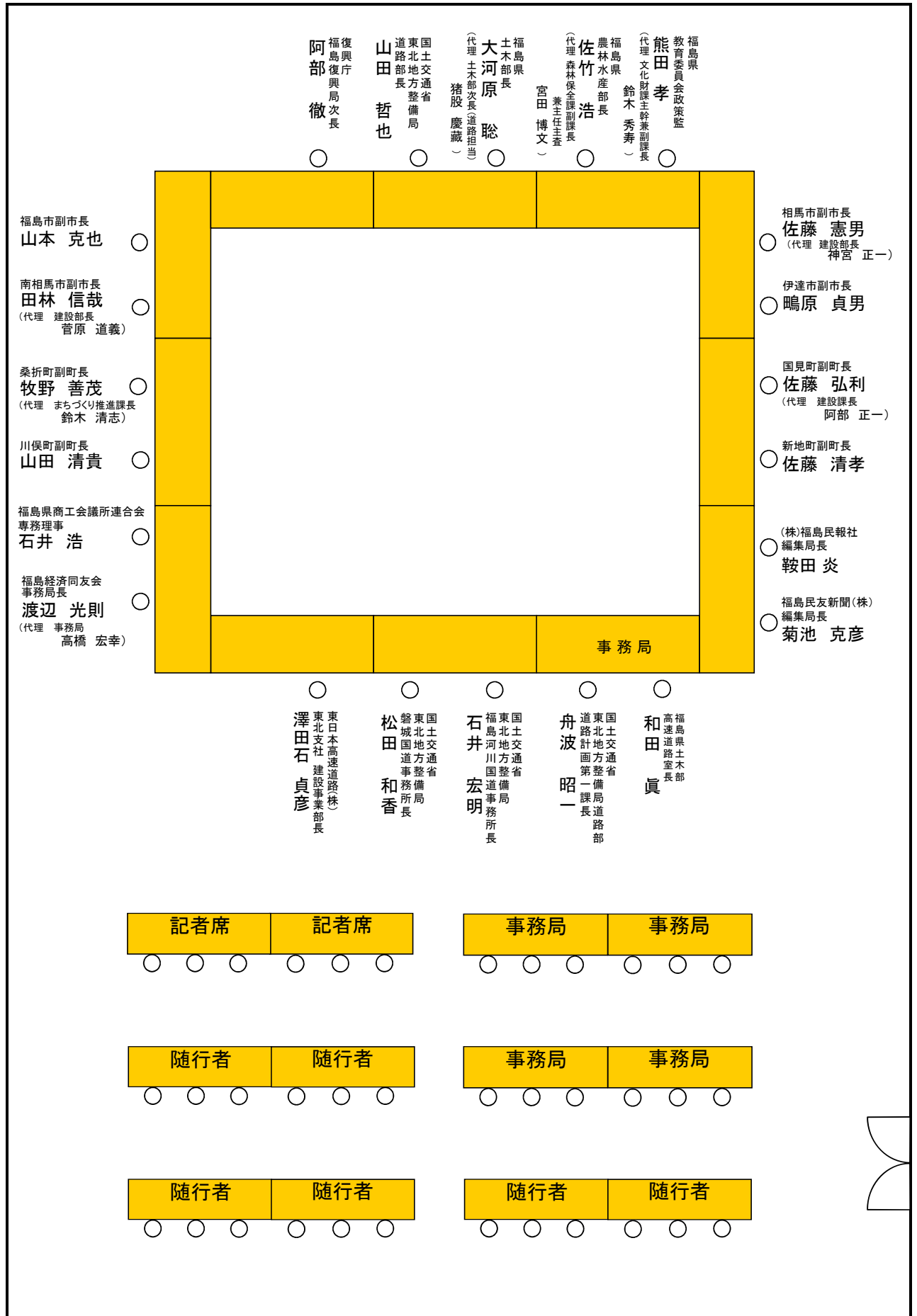
資料 4 ~ 1 0

3) その他

第7回復興道路会議～福島県～ 配席図

杉妻会館 4階 牡丹の間

平成29年6月27日(火) 13:30～



「復興道路会議～福島県～」

役 職 名	氏 名
福島県土木部長	大河原 聡
福島県農林水産部長	佐竹 浩
福島県教育委員会 政策監	熊田 孝
福島市副市長	山本 克也
相馬市副市長	佐藤 憲男
南相馬市副市長	田林 信哉
伊達市副市長	嶋原 貞男
桑折町副町長	牧野 善茂
国見町副町長	佐藤 弘利
川俣町副町長	山田 清貴
新地町副町長	佐藤 清孝
飯舘村副村長	門馬 伸市
一般社団法人東北経済連合会 専務理事	大江 修
福島県商工会議所連合会 専務理事	石井 浩
福島経済同友会 事務局長	渡辺 光則
株式会社福島民報社 編集局長	鞍田 炎
福島民友新聞株式会社 編集局長	菊池 克彦
東日本高速道路株式会社東北支社 建設事業部長	澤田石 貞彦
復興庁 福島復興局次長	阿部 徹
国土交通省 東北地方整備局 道路部長	山田 哲也
国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所長	石井 宏明
国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所長	松田 和香

敬称略

復興道路会議～福島県～ 規約

(名称)

第1条 本会議は、「復興道路会議～福島県～」と称する。

(目的)

第2条 本会議は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとなる復興道路等の早期完成を図るため、全ての関係者に対する事業進捗への合意形成と、国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決を目的として開催する。

(協議事項)

第3条 本会議は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる連絡及び調整を行う。

- 一 事業の合意形成に関する事項
- 二 事業促進の課題解決に関する事項
- 三 その他本会の目的を達成するために必要な事項

(対象事業)

第4条 本会議で対象とする復興道路は、以下のとおりとする。

- 一 東北中央自動車道（相馬～福島）
- 二 その他

(組織)

第5条 本会議は、以下の構成員をもって組織する。

- 一 福島県、復興庁 福島復興局
国土交通省 東北地方整備局、東日本高速道路(株)東北支社
- 二 復興道路等の関係市町村
- 三 地域経済界及び報道関係代表

(事務局)

第6条 本会議の庶務は、福島県土木部及び国土交通省東北地方整備局道路部において処理する。

(雑則)

第7条 この規約に定めるもののほか、本会議の運営に関して必要な事項は会議において定める。

復興道路・復興支援道路の概要

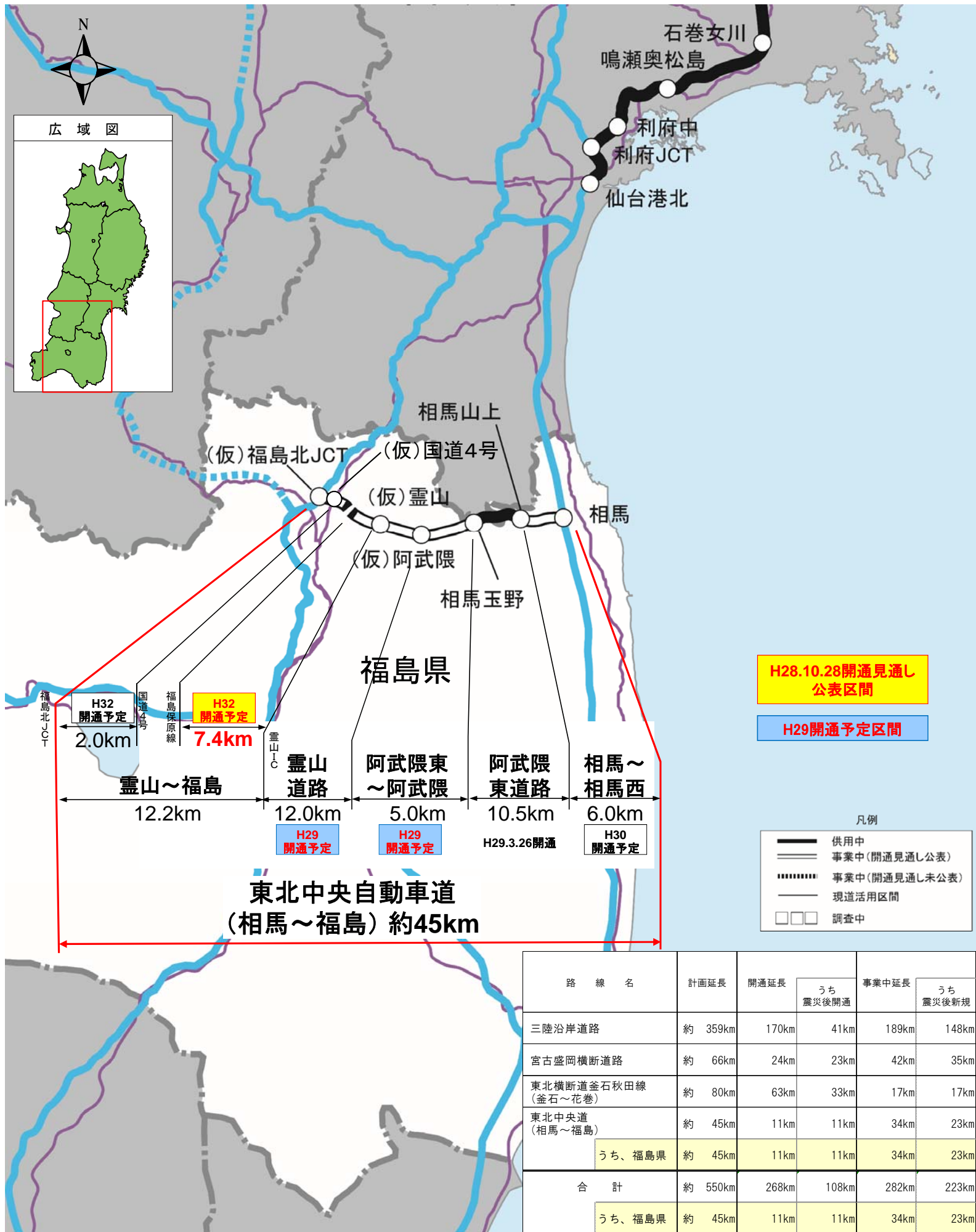
H29.3.31現在

国土交通省が中心となって整備を行っている
復興道路・復興支援道路の路線全長550km
[震災後新規区間223km(約4割)]



福島県内の概要

H29.3.31現在



復興道路・復興支援道路の各路線別進捗状況

資料一-1

《平成28年度の進捗状況》

- 復興道路・復興支援道路の用地買収は概成し、主要構造物完成率は約5割まで進捗
- 登米津川道路(11.1km)と南三陸道路(3.0km)の開通により、三陸沿岸道路が太平洋沿岸の被災自治体まで延伸
- 阿武隈東道路(10.5km)の開通により、復興支援道路である東北中央自動車道では初めての開通
- 矢本石巻道路(12.1km)の4車線開通により、三陸沿岸道路の4車線化計画区間が全線開通(計画延長約52km)

路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	用地進捗率※1	工事着手率※2	主要構造物着手率※3	主要構造物完成率※4	トンネル掘削進捗率※5	橋の上部工着手率※6	
									トンネル掘削進捗率※5	橋の上部工着手率※6
三陸沿岸道路	約 359km	156km	203km	約95%	100%	約80%	約40%	約70%	約60%	約70%
		170km	189km	約99%	100%	約90%	約55%	約85%	約70%	約70%
宮古盛岡横断道路	約 66km	24km	42km	約99%	100%	約60%	約35%	約20%	約45%	約45%
		24km	42km	約99%	100%	約75%	約40%	約40%	約45%	約45%
東北横断道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	63km	17km	約99%	100%	約80%	約65%	約95%	約65%	約65%
		63km	17km	約99%	100%	約99%	約65%	100%	約90%	約90%
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	0km	45km	約94%	100%	約70%	約40%	約80%	約55%	約55%
		11km	34km	約97%	100%	約75%	約55%	約85%	約65%	約65%
合計	約 550km	243km	307km	約96%	100%	約75%	約40%	約60%	約55%	約55%
		268km	282km	約99%	100%	約85%	約50%	約70%	約70%	約70%

三陸沿岸道路(4車線化)	約 52km	40km	12km	100%	100%	100%	100%	—	100%	100%
		52km	0km	100%	100%	100%	100%	—	100%	100%

【宮城県】 みやぎ県北高速幹線道路	約 20km	9km	11km	約94%	100%	約70%	約65%	—	約65%	約65%
		9km	11km	約99%	100%	約90%	約65%	—	約70%	約70%

※1. 用地進捗率=取得済面積(ha)/必要面積(ha)
 ※2. 工事着手率=工事に着手した区間延長/計画区間延長
 ※3. 主要構造物着手率=(着手済+完成済構造物数)/全構造物数
 ※4. 主要構造物完成率=完成済構造物数/全構造物数
 ※5. トンネル掘削進捗率=トンネル掘削延長/計画区間延長
 ※6. 橋の上部工着手率=(上部工着手済+完成済橋架数)/全橋架数

【福島県】各事業区間の進捗状況

路線名	事業区間名	延長	開通予定	用地進捗率 (面積ベース)※1	埋蔵文化財 調査完了率 ※2	保安林解除	事業進捗上の課題
				上段:H28.3.31現在 下段:H29.3.31現在			
東北中央自動車道(相馬～福島)							
	相馬西道路 (相馬～相馬西)	6.0km	H30年度	約99% 約99%	100% 100%	1箇所/1箇所申請済 1箇所/1箇所解除済	
	阿武隈東道路	10.5km	H29.3.26開通				
	阿武隈東～阿武隈	5.0km	H29年度	100% 100%	100% 100%	1箇所/1箇所解除済 1箇所/1箇所解除済	
	霊山道路	12.0km	H29年度	100% 100%	約90% 100%	3箇所/3箇所解除済 3箇所/3箇所解除済	
	霊山～福島	12.2km	一部 H32年度	約79% 約91%	約45% 約62%	対象外	・用地取得、工事の推進

※1:用地進捗率=取得済面積(ha)/必要面積(ha)

※2:埋蔵文化財調査完了率=本調査完了面積(ha)/調査対象面積(ha)

復興道路・復興支援道路の「見える化」（平成28年度）

- 起工式、現場見学会、自治体での事業進捗等の見える化を紹介
- 東北地方整備局の復興道路ホームページで情報発信

◆復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み

○住民参加による各種式典の開催

- ・式典への住民参加事例を紹介

○現場見学会における進捗状況の説明

- ・夏休みを活用した現場見学会を紹介

○市町村役場等における進捗状況発信

- ・市町村役場、道の駅、観光施設等においてモニター、説明看板、かわら版、ホームページによる情報発信を紹介

○地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

- ・施工企業のCSR活動の見える化を紹介

◆市町村別における「見える化」の取り組み

○岩手県内

- ・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介
- ・好事例を紹介

○宮城県内

- ・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介
- ・好事例を紹介

○福島県内

- ・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介
- ・好事例を紹介

復興道路・復興支援道路の見える化（平成28年度）

～国土交通省が中心となって整備を進めている路線550kmのうち
268kmが開通済み、235kmが開通見通し公表済み～



◇起工式・貫通式等

式典20回開催
新聞報道33回
テレビ放映14回

三陸沿岸道路 吉浜釜石道路
(岩手県釜石市) (H28年6月)



◇現場見学会等

144回開催
約3,810人参加

三陸沿岸道路 気仙沼道路
(宮城県気仙沼市) (H28年10月)



◇市町村等での進捗状況等の発信

- ・市町村ロビー 34箇所
- ・道の駅等 37箇所
- ・現地看板 61箇所

合計132箇所で進捗状況等の発信を行った。

相馬福島道路 (福島県福島市)



◇HP等による情報発信

3.11 復興道路・復興支援道路情報サイト

このホームページは、「復興道路」「復興支援道路」の進捗状況を国民の皆様方にお伝えするために作成しているものです。

復興道路

復興道路の概要 | 事業進捗状況 | 開通日誌 | 道路効果事例 | 各県のお問合せ | リンク

◎整備効果事例を掲載しました

復興道路・復興支援道路の概要

以下の県名・市町村名・路線名をクリックすると詳細ページへ移動します。

↑ここから↑

●記者発表

- 平成29年
 - 6月14日 復興道路・復興支援道路の進捗に関する一宮市での記者発表
 - 6月28日 【@県ブランド】復興道路 道の駅が道コン交流館に昇格
 - 6月28日 復興道路 道の駅が道コン交流館に昇格
 - 6月18日 【宮城県復興道路】復興支援道路 下川町トンネル(仮)安全祈願祭を開催しました。

●進捗に関する新規情報

- 6月31日 「宮城県復興道路 宮古市道路 下川町トンネル(仮)安全祈願祭」を開催しました。
- 4月28日 「復興道路 道の駅 道の駅 道の駅」の開催発表を行いました。
- 3月20日 「復興道路 道の駅 道の駅」の開催発表を行いました。

●県別進捗状況

- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 福島県

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(1)

●住民参加による各種式典の開催

- ◆工事の節目に行う式典（貫通式、連結式）において住民参加の各種式典を開催。
- ◆工事の進捗状況について理解を深め、地域とのコミュニケーションを重視。

※月館高架橋の現場見学会 (H25～H28)
36回開催、1,078人参加【相馬福島道路の約4割】

【相馬福島道路 霊山道路】 つきだて

月館高架橋（仮称）連結式 《福島県伊達市》



▲地域の方々や地元の小学生等を招いて連結式を開催（H28. 10. 27）

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(1)

●住民参加による各種式典の開催

- ◆工事の節目に行う式典（貫通式、連結式）において住民参加の各種式典を開催。
- ◆工事の進捗状況について理解を深め、地域とのコミュニケーションを重視。

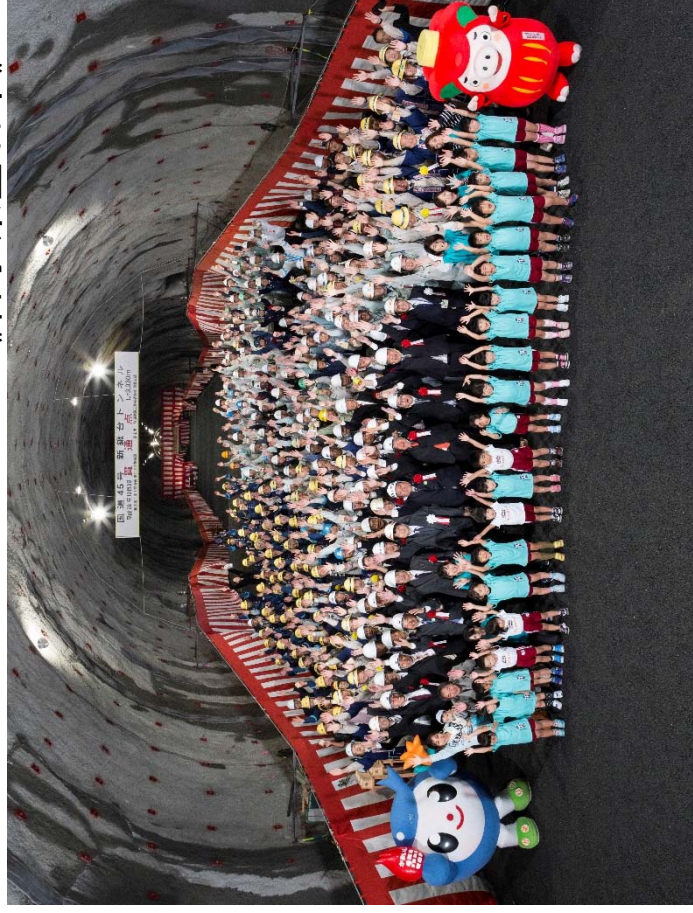
よしはまかまいし
【三陸沿岸道路 吉浜釜石道路】

しんくわだい
新釜台トンネル（仮称）貫通式

《岩手県釜石市》

そうまにし
【相馬福島道路 相馬西道路】

えんぶち
円渕トンネル（仮称）貫通式《福島県相馬市》



▲三陸沿岸道路最長（約3,330m）となるトンネルの貫通式に、地域の方々等を招き開催。（H28. 10. 3）



▲地元小学生等を招き開催。（H28. 8. 4）

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(2)

●現場見学会における進捗状況の説明

- ◆小中学生や地域の方々、土木を専門に学んでいる高校生・大学生、復興道路等の事業を支援していただいている団体や自治体等、様々な方々が現場見学会に参加。
- ◆夏休み活用し、親子で参加できる工夫を凝らした現場見学会を開催。

【相馬福島道路 霊山道路】
りょうぜん

地元の高校生による現場見学会
《福島県伊達市》



▲めのがわ布川大橋（仮称）の配筋状況等
を見学（H28. 10. 13）

【相馬福島道路 阿武隈東～阿武隈】
あぶくまひがし あぶくま

地元の小学生による現場見学会
《福島県伊達市》



▲コンクリート練りの体験学習
（H28. 11. 17）

【相馬福島道路 霊山道路】
りょうぜん

地元の町内会による現場見学会
《福島県伊達市》



▲つきだて月館高架橋（仮称）を見学
（H28. 12. 5）

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(2)

●現場見学会における進捗状況の説明

- ◆小中学生や地域の方々、土木を専門に学んでいる高校生・大学生、復興道路等の事業を支援していただいている団体や自治体等、様々な方々が現場見学会に参加。
- ◆夏休み活用し、親子で参加できる工夫を凝らした現場見学会を開催。

【相馬福島道路 相馬西道路】

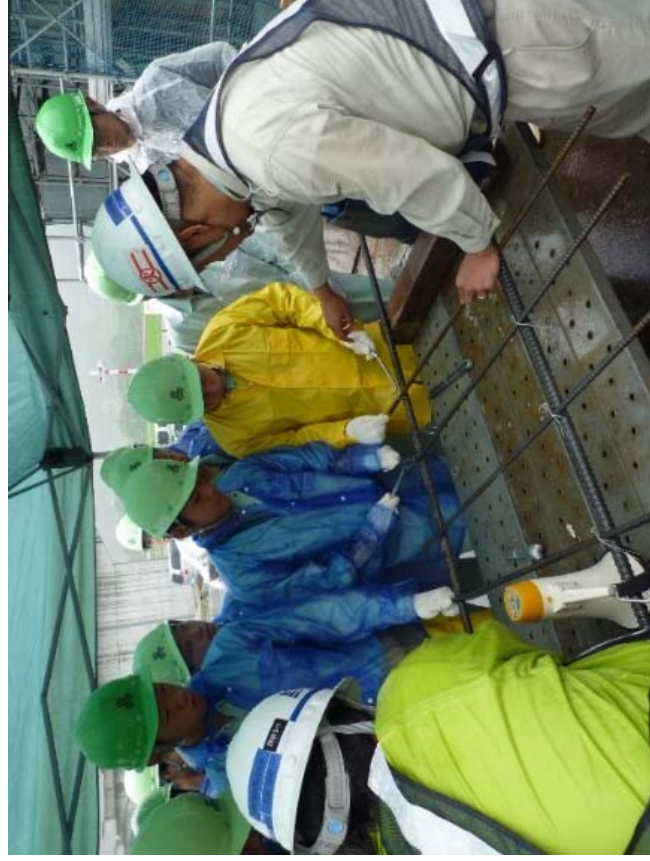
【相馬福島道路 相馬西道路】

地元の高校生による現場見学会

親子参加による現場見学会

《福島県相馬市》

《福島県相馬市》



▲鉄筋結束の体験学習を併用した現場見学会
(H28.7.5)



▲円渕トンネル（仮称）でトンネル工事機械の操縦体験（H28.8.6）

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(2)

●現場見学会における進捗状況の説明

- ◆小中学生や地域の方々、土木を専門に学んでいる高校生・大学生、復興道路等の事業を支援していただいている団体や自治体等、様々な方々が現場見学会に参加。
- ◆夏休み活用し、親子で参加できる工夫を凝らした現場見学会を開催。

くざかい
【宮古盛岡横断道路 区界道路】

自治体職員による現場見学会

《岩手県盛岡市》



▲ 区界道路を見学 (H28. 7. 29)

からくわたかだ
【三陸沿岸道路 唐桑高田道路】

地元の小学生による現場見学会

《宮城県気仙沼市》



▲ (仮称) 県境トンネルを見学 (H28. 7. 31)

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(3)

●市町村役場等における進捗状況発信

- ◆地域の方々が集まる市町村役場、道の駅や観光客が集まる観光施設等においてモニター、かわら版、ホームページ等を活用し、復興道路等の必要性や工事の進捗状況を発信。
- ◆地域の方々や道路利用者、観光客等を対象に進捗状況の見える化の取り組みを実施。

①復興道路等の沿線市町村ロビー等における情報提供の工夫



▲市役所の1階ロビーでモニターにより情報を発信（岩手県宮古市）



▲市役所2階の廊下に進捗状況等を紹介するかわら版を掲示（福島県相馬市）

③現場広報ポイントにおける説明看板の工夫



▲「吉浜釜石道路 荒川トンネル」では説明看板に三次元平面図を活用（岩手県釜石市）



▲統一看板への開通目標の掲示（福島県伊達市）

②沿線道の駅等における情報提供の工夫



▲道の駅「上品の郷」にて整備箇所の写真などを掲示（宮城県石巻市）



▲道の駅「やまびこ館」にて工事進捗状況の発信（岩手県宮古市）

④「かわら版」やHPによる情報発信



▲進捗状況をお知らせする「かわら版」



▲東北地方整備局の復興道路ポータルサイト（H.P）

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(4)

●地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

- ◆次代を担う子供たちを含めた地域とのコミュニケーションをより重視して、施工企業のCSR活動とともに見える化の取り組みを実施。
- ・三陸沿岸道路山田宮古道路では、宮古警察署及び津軽石小学校と協力し、子ども達の安全確保及びパトロール隊と警察の連携強化を図る活動の一環として、“「こども110番」パトロール隊声かけ訓練”を実施。
- ・相馬福島道路霊山道路では、地元の方を招き、現場内のウォーキングを実施。

【三陸沿岸道路 山田宮古道路】
安全連絡協議会 《岩手県宮古市》

【相馬福島道路 霊山道路】
川向地区道路改良工事外
《福島県伊達市》



▲地域の小学校の生徒の皆様と『こども110番パトロール隊声かけ実施訓練』を実施 (H28. 4. 15)



▲現場内を歩く参加者
(H28. 10. 25)



▼現場で説明

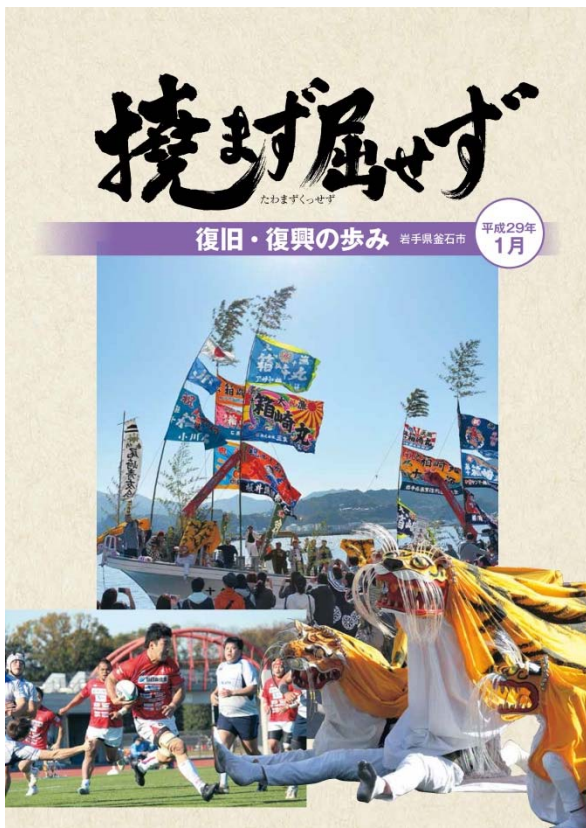
○ 市町村別における「見える化」の取り組み 【岩手県】

盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・築川福祉センター(築川支所)に宮古盛岡横断道路事業概要パネル及び新区界トンネル工事進捗パネルを設置 ・松園連絡所(公民館)、中央公民館、上田公民館、区界高原少年自然の家、プラザおでつ(観光文化情報プラザ)に「宮古盛岡横断道路通信」を配布
宮古市	<ul style="list-style-type: none"> ・川井総合事務所、新里総合事務所に宮古盛岡横断道路事業概要パネル及び新区界トンネル工事進捗パネルを設置 ・道の駅に事業紹介展示コーナーを確保 ・市役所ロビーでの工事進捗情報提供モニター及び工事進捗チラシの設置 ・三陸国道事務所と共催で事業進捗パネル展を開催 ・道の駅「たろう」仮オープンイベントにて、事業紹介展示コーナーの設置【事例1】 ・道の日in宮古 クリーン作戦への参加(宮古道路をまもる会) ・田老地区運動会の際のパネル展開催 ・市広報でパネル展開催のお知らせや、工事進捗「宮古箱石道路の貫通式」を掲載
大船渡市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所ロビーにモニターを設置し工事進捗状況をお知らせ(H25.1～継続) ・市役所ロビー吉浜地区拠点センター、道の駅「さんりく」で「工事状況のお知らせ」を配布
久慈市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所・支所・公民館等での工事進捗チラシの設置、HPへの掲載 ・市広報紙に工事進捗状況を掲載 ・久慈秋祭りにおける「北リアスみちづくり女性の会」と合同による道路整備促進啓発活動(チラシの配布)の実施
遠野市	<ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅」遠野風の丘に事業進捗パネルを設置 ・市役所ロビー及び後方支援資料館に事業進捗パネル等を設置(H27.3～)
陸前高田市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所、及び復興まちづくり情報館に「工事状況のお知らせチラシ」を配置 ・「復興まちづくり情報館」に復興道路等の工事進捗をお知らせするモニター、パネルを設置
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所市民課及び各生活応援センターで「工事状況のお知らせ」を配布 ・市役所市民課に復興道路等の工事進捗をお知らせするモニターを設置(継続) ・道の駅「釜石仙人峠」内で「釜石道路かわら版」を掲示・配布、モニターにより完成イメージCGを放映 ・市作成の「撓まず屈せず～復旧・復興の歩み～」で復興道路について連載【事例2】
大槌町	<ul style="list-style-type: none"> ・大槌町役場、中央公民館に「かわら版」を掲示、配布 ・役場ロビー及びショッピングセンターに復興道路等の工事進捗をお知らせするモニターを設置
山田町	<ul style="list-style-type: none"> ・役場及び町民ホールでの工事進捗チラシの設置 ・町民ホールでの工事進捗情報提供モニターの設置 ・町広報紙とともに工事進捗チラシの配布 ・観光協会ブログで工事進捗を発信 ・山田町ウオーキングイベントとして、山田宮古道路を会場として提供(約3.5km)
岩泉町	<ul style="list-style-type: none"> ・役場での工事進捗チラシの設置 ・工事進捗チラシの施工業者との連名発行、町内回覧とともに工事進捗チラシの配布 ・町広報紙に工事進捗状況を掲載
田野畑村	<ul style="list-style-type: none"> ・役場での工事進捗チラシの設置 ・田野畑牛乳フェアの際のパネル展開催 ・村広報紙に協議会における清掃活動や現場見学会記事などを掲載
普代村	<ul style="list-style-type: none"> ・役場での工事進捗チラシの設置 ・村広報紙に工事内容、施工業者の紹介記事を掲載 ・ふだいまるごと元気市の際のパネル展開催
野田村	<ul style="list-style-type: none"> ・役場内電子掲示板での工事進捗状況の提供 ・地区回覧とともに工事進捗チラシの配布 ・村広報紙に工事進捗状況を掲載
洋野町	<ul style="list-style-type: none"> ・町役場ロビーでのパネルの展示設置 ・町役場(支所)、郵便局、町公共施設に工事進捗チラシを配布 ・町内イベント(文化祭等)の際のパネル展開催 ・いわて国体開催期間中の交通輸送業務に協力(臨時駐車場地を提供)

【事例1】道の駅「たろう」仮オープンイベントにて、
事業紹介展示コーナーの設置（宮古市）



【事例2】市作成の「撓まず屈せず～復旧・復興の歩み～」
で復興道路について連載（釜石市）



産業（なりわい）の再生 IV



●工事進捗状況について

南三陸国道事務所が工事を担当する区間のうち、釜石市内では三陸沿岸道路の「吉浜釜石道路」「釜石山田道路」、東北横断自動車道釜石秋田線「釜石道路」の各工事区間でトンネルや橋りょう、インターチェンジ等の工事が順調に進んでいます。復興道路等の工事進捗状況は、南三陸国道事務所のホームページでご覧いただけるほか、市役所市民課及び各地区協議センター等で配布している工事チラシでご覧いただけます。



釜石中央インターチェンジ（イメージ図）

○ 市町村別における「見える化」の取り組み 【宮城県】

石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・病院イベント(赤十字健康まつり)において復興道路の整備状況パネル展を開催【事例1】 ・市の総合防災訓練において三陸沿岸道路の避難階段を利用した訓練を実施 ・市政教室において三陸沿岸道路の4車線化工事を紹介
塩竈市	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌で復興特集を毎月掲載 ・平成25年9月より、市役所ロビーに復興情報コーナーを設置 ・宮城県と塩竈市が連携し、市内大型商業施設に復興情報コーナーを設置
気仙沼市	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の市」に気仙沼湾横断橋の模型を展示 ・「海の市」において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示 ・市広報誌で三陸沿岸道路の進捗情報を掲載【事例2】
登米市	<ul style="list-style-type: none"> ・迫総合支所において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示
南三陸町	<ul style="list-style-type: none"> ・さんさん商店街において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示 ・町広報誌にて整備状況を周知
東松島市	<ul style="list-style-type: none"> ・市の総合防災訓練において矢本石巻道路の避難階段を利用した訓練を実施

【事例1】病院のイベントで復興パネルを展示（石巻市）



【事例2】広報誌で進捗情報を発信（気仙沼市）

✓ 平成28年の復旧・復興事業の進捗をお知らせします 交通網

市では、震災以降、市民の皆さまのご協力をいただきながら、復旧・復興事業に取り組んでいます。昨年は、各事業が目に見える形となり、平成29年には防災集団移転団地、災害公営住宅がすべて完成するなど、「復興」が実感できる段階となりました。

本号では、新年にあたり、あらためて震災復興のリーディングプロジェクトなどの進捗よくと、今後の予定についてお伝えします。

住まい

災害公営住宅

全28地区（約2,100戸）の計画で整備を進め、平成26年度の南郷地区を皮切りに、順次入居が開始され、29年度までにすべての整備が完了する予定です。

28年12月までに26地区1,644戸が完成し、全体の進捗率は77%となりました。

■年度別完成戸数

- 平成26年度…2地区（185戸）
- 平成27年度…12地区（496戸）
- 平成28年度…19地区（1,273戸）予定
- 平成29年度…3地区（175戸）予定

※各年度の地区数については、地区で完成年度が複数に分かれる場合があることから、全体地区数の28地区と合致しません。



防災集団移転

全46団地（910区画）で造成工事に着手し、平成25年度から順次移転者へ引き渡し、29年度までにすべての整備が完了する予定です。

28年12月までに45団地の造成が完了し、進捗率は98.4%となりました。

■年度別完成団地数

- 平成25年度…1団地（6区画）
- 平成26年度…9団地（117区画）
- 平成27年度…32団地（733区画）
- 平成28年度…5団地（39区画）
- 平成29年度…1団地（15区画）予定

※団地数は、同団地で完成年度が複数に分かれる場合があることから、全体団地数の46団地と合致しません。



三陸沿岸道路

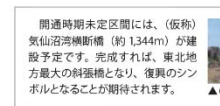
三陸沿岸道路は、仙台市から八戸市までを結ぶ、延長約359kmの自動車専用道路で、市内では10か所のインターチェンジ（以下「IC」）が設置される予定です。

平成28年10月には、仙台から志津川までが開通。今年度中には（仮称）南三陸海岸ICまでの開通が予定されており、本市までの早期開通が待たれるところです。

■平成28年の主な出来事

- ①（仮）本吉 IC - （仮）大谷 IC 間の開通予定時期が、平成30年度内と示される。
- ②（仮）気仙沼陸上 IC の設置が決定。
- ③「（仮）歌津北 IC - （仮）仰名沢 IC 間」の開通予定時期が、平成30年度内と示される。
- ④「（仮）仰名沢 IC - （仮）本吉 IC 間」の開通予定時期が、平成32年度内と示される。
- ⑤「三滝堂 IC - 志津川 IC」開通。

※地区内の期間がすべて開通予定年度です。
 ※●はハーフ IC、○はフル IC を表しており、以下のような出入りとなります。



大島架橋

本土と大島をつなぐ356mのアーチ橋。現在、朝日ふ頭でアーチ部分の組立工事が行われています。平成29年3月には、アーチ部分を大きなクレーン船で吊り上げて海上を運搬し、橋脚部分へ設置する架設工事が行われる予定です。

平成30年度の完成を予定しており、ついに龍島の大島が本土とつながり、大島との交通が便利になると期待されています。



○ 市町村別における「見える化」の取り組み 【福島県】

福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市ホームページで復興道路を紹介 ・市役所展望ロビー等2箇所において、復興支援道路の事業概要・工事進捗をお知らせするパネルを設置
相馬市	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報誌「広報そうま」に事業進捗状況等を掲載(H28継続) ・市役所ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H28継続) ・市役所ロビーにおいて、開通に向けた民間事業者等の期待のメッセージ(ビデオレター)を放映 【事例1】
南相馬市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H28継続)
伊達市	<ul style="list-style-type: none"> ・伊達市ホームページや広報誌「だて市政だより」による事業概要・工事進捗等の情報提供【事例2】 ・市役所及び支所等5箇所において、復興支援道路の事業概要・工事進捗をお知らせするパネルを設置 ・市内各小・中学校22校に工事状況ポスターを掲示
桑折町	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「広報こおり」に復興道路の記事を掲載。 ・桑折町役場・睦合公民館において、復興道路の事業概要・工事進捗の状況を周知するパネルを設置 ・桑折町ホームページのトップに復興道路・事業促進PPPのバナーを設定し紹介
国見町	<ul style="list-style-type: none"> ・国見町ホームページに復興道路紹介ホームページをリンク
新地町	<ul style="list-style-type: none"> ・町役場ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H28継続)

【事例1】市役所ロビー、廊下等で期待と進捗状況等を紹介（相馬市）



【事例2】広報誌に復興道路の記事を掲載（伊達市）

平成28年5月号

3/12
(土)

全てのトンネルで貫通
腰巡トンネル貫通式

霊山町石田地区 ceremony

国道115号相馬福島道路の霊山道路区間で工事が進められている（仮称）腰巡トンネルにおいて、貫通式が行われました。式は、霊山太鼓保存会による演奏も添えられ、トンネルの貫通を大いに祝いました。



霊山道路区間において、7本のトンネルを計画していますが、このトンネルの貫通により全てのトンネルが貫通しました。

平成28年8月号

福島河川国道事務所
からのお願い

ご理解とご協力をお願いします

相馬福島道路の早期開通に向け工事を急ピッチで進めているため、当面の間、市内の工事用車両の通行量が増加しております。交通安全に細心の注意を払いながら通行しますので、ご理解とご協力をお願いします。



福島河川国道事務所
工事関係車両
〇-〇-〇〇〇

当工事専用の工事識別ステッカーをダンプトラックの前後に表示して走行します。

福島河川国道事務所信夫山国道出張所 ☎ 555-6554
高速道路推進室 ☎ 577-3184

平成28年10月号

9/4
(日)

高速道路開通前限定
トンネルウォーキング

庄司測トンネルほか event

復興支援道路である相馬福島道路のうち、庄司測トンネル～熊屋敷橋～腰巡トンネル（全長1,885m）でトンネルウォーキングが開催されました。総勢175人が参加し、トンネル掘削の工程について学び、歩きながらトンネルの中の空気を味わいました。相馬福島道路の開通後は徒歩での通行は出来ないため、貴重な体験となりました。



平成28年12月号

10/27
(木)

霊山道路の開通へ向け
月館高架橋連結式

月館町御代田地区 ceremony

福島と相馬を結ぶ相馬福島道路の区間で最も長い橋梁である月館高架橋で連結式が行われました。福島河川国道事務所や霊山道路地権者会など関係者53人が参列。仁志田昇司市長のほか月館小学校児童らが橋梁の一部にコンクリート注ぎ完成を祝いました。式の後には、月館小学校児童68人により、橋梁にイラストが描かれました。



相馬福島道路を活かして ～復興に向けた取り組み～



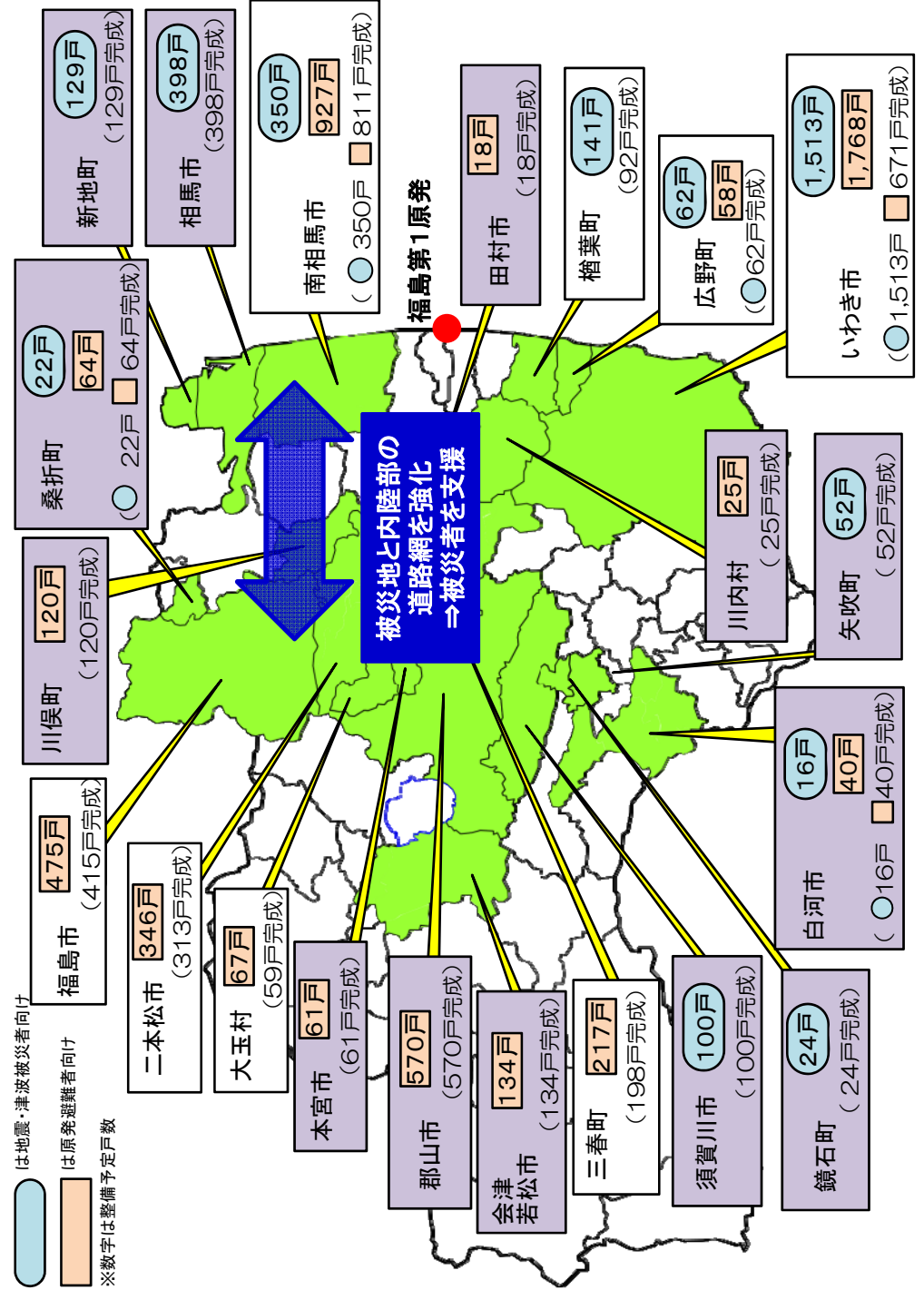
平成29年6月27日

福島県

- ・地震・津波被災者、原発避難者のための復興公営住宅を整備している。
- ・現在までに**6,257戸(7,697戸)**を整備(約81%完成)している。

➡ **安心して生活できる拠点づくり**

区分	整備予定	完成
地震被災者・津波	2,807戸 (11市町村)	2,758戸
原発避難者	4,890戸 (県主体) H29年度完成予定	3,499戸



(平成29年5月末現在)

【政策②】沿岸部と内陸部の物流強化

・重要港湾相馬港周辺や相馬中核工業団地の立地企業から県北地方や山形県への新たな物流の発生や、相馬港を活用した大量輸送により、**企業活動の活性化が期待される。**

・浜通りの再生エネルギーの拠点や研究開発施設の支援をはじめ**関連企業の集積に寄与**する



重要港湾相馬港と一体となった輸送の向上と新しい拠点の整備支援

3 重要港湾【相馬港】からの物流

【相馬港周辺企業立地状況】



【新規・増設】

- ①【電力】相馬共同火力発電(株)、②【化学薬品】昭和電工(株)
- ③【ガス】石油資源開発(株)、④【電力】福島ガス発電(株)

【相馬港】

- ⑤【米】JAパールライン福島、⑥【セメント】太平洋セメント、
- ⑦【鋼材】(株)アイテック

【相馬中核工業団地 東地区】

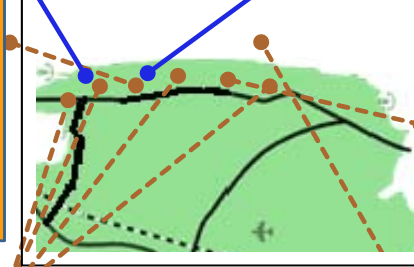
- ⑧【工業油製造】(株)ADEKA、⑨【特殊樹脂製造】ローム・アンド・ハース・ジャパン(株)、⑩【電力】相馬エネルギーサポート
- ⑪【太陽電池材料製造】エムセテック(株)、⑫【電力】相馬エネルギーパーク合同会社、⑬【製紙用顔料製造】(株)ファイマテック、⑭【石膏製造】相馬石膏(株)

4 浜通りの再生エネルギーの拠点、研究開発施設の支援

スマートコミュニティ 構想の推進

復興のまちづくりにおいて太陽光や風力等の再生可能エネルギーやLNGによる熱電供給などの分散型エネルギーを効率的に活用。

新地町・相馬市・浪江町・檜葉町



沿岸部大規模太陽光発電事業

平成30年度 利用開始予定

70 幼ワカ

南馬市

水産種苗研究・生産施設

イメージ

H28.1 着工

相馬市

福島県の水産業振興に向けた調査研究のための拠点を復旧整備。
((株)ADEKA相馬工場敷地内)
<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H27～：建設工事等
H30年度：供用開始を目指す

浮体式洋上風力発電 実証研究事業

稼働中 14 幼ワカ

福島県沖

世界最大級*ふくしま新風* (全高189m)運転開始

浮体式洋上風力発電システムの安全性、信頼性、経済性を検証。研究開発等の拠点を形成し、風力発電関連産業の集積を目指す。

[第一期] 2メガワット風車
平成25年11月11日より運転開始
[第二期] ①7メガワット風車
平成27年12月26日より運転開始
②5メガワット風車
平成28年7月20日設置、試運転中

大熊町ふるさと再興 幼ワカ

稼働中 1.89 幼ワカ

大熊町

浜地域農業再生研究センター

H28.3.25 開所

南馬市

避難地域等の営農再開、農業再生に向けた調査研究のための拠点を整備。(旧萱浜ニュースポーツ広場内)

【政策②】沿岸部と内陸部の物流強化

・常磐道と東北道の連結により、新たな産業・雇用を創出し、住民が安心して帰還し、働き続ける浜通りの再生を目的とした【イノベーションコースト構想】に係る物流を支え、安定した産業形態の構築と関連産業の集積が期待される。

⇒ 『イノベーションコースト構想』による産業の進展を支え、地域の活性化につなげる

5 イノベーションコースト構想の実現

廃炉国際共同研究センター 国際共同研究棟



H29.4
運用開始

富岡町

国内外の大学、研究機関、企業等が集結し、廃炉研究と人材育成を行う。

<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H28.4～：建設工事等

H29.4：開所予定

楢葉遠隔技術開発センター (モックアップセンター)



H28.4
全面
運用開始

楢葉町

原子炉格納容器の調査・補修用ロボット等の開発・実証実験を行う。また、計測機器、工作機械等の設備は、中小企業等など一般による利用が可能。

国際産学官共同利用施設 (ロボット)



南相馬市

国内外の研究者等が集い、ロボットの基礎的・基盤的な研究等を行う。

<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H28.10～：設計等

ロボットテストフィールド



南相馬市 浪江町

災害対応ロボット等の実証試験や性能評価を行う。

<進捗状況等>

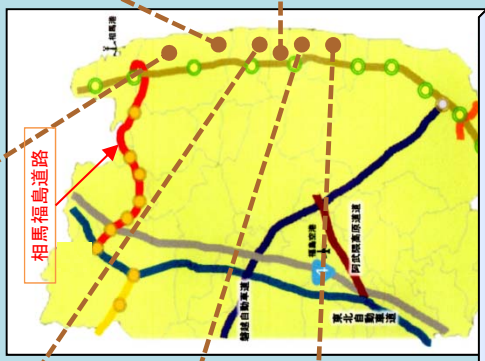
構想 設計 着工 完成

H28.9～：設計等

H30年度：順次開所予定

その他の主なプロジェクト

- ◆ 技術者研修拠点
- ◆ 国際産学官共同研究施設 (放射線の知識を必要とした多様な研究分野)
- ◆ 大学教育拠点
- ◆ スマート・エコパーク
- ◆ エネルギー関連産業プロジェクト (スマートコミュニティ形成、水素によるエネルギー貯蔵・効率的利用など)
- ◆ 農林水産分野プロジェクト (農業用ロボットの開発・実証、CLTの推進、水産研究拠点など)



福島県浜通り地方の再生

大熊分析・研究センター (放射線物質分析・研究施設)



H29年度一部
運用開始

大熊町

燃料デブリ等の性状把握、処理技術開発を行う。

<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H28.9～：建設工事等

H29年度：一部運用開始予定

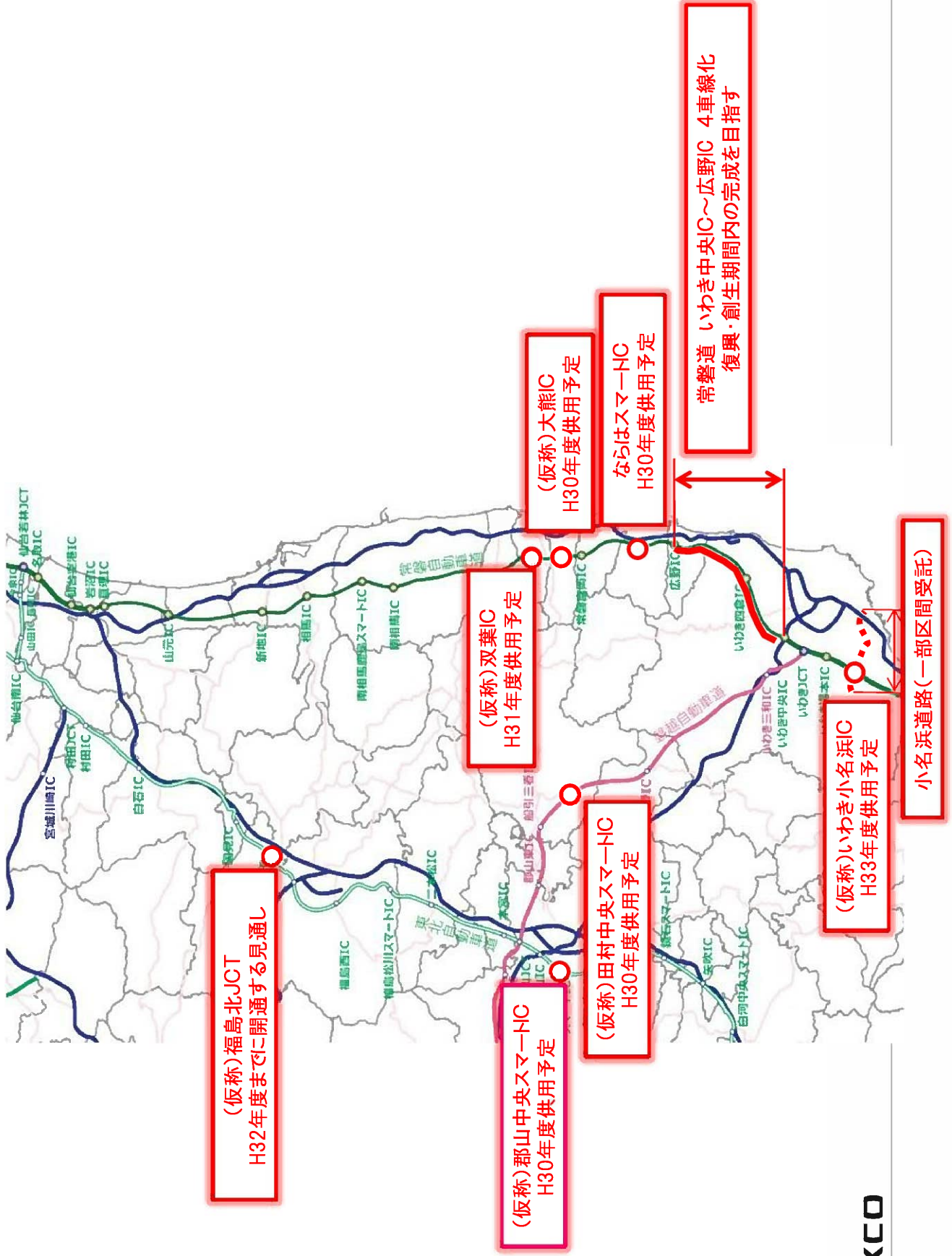
常磐自動車道の整備効果・事業状況について

平成29年6月27日

東北支社



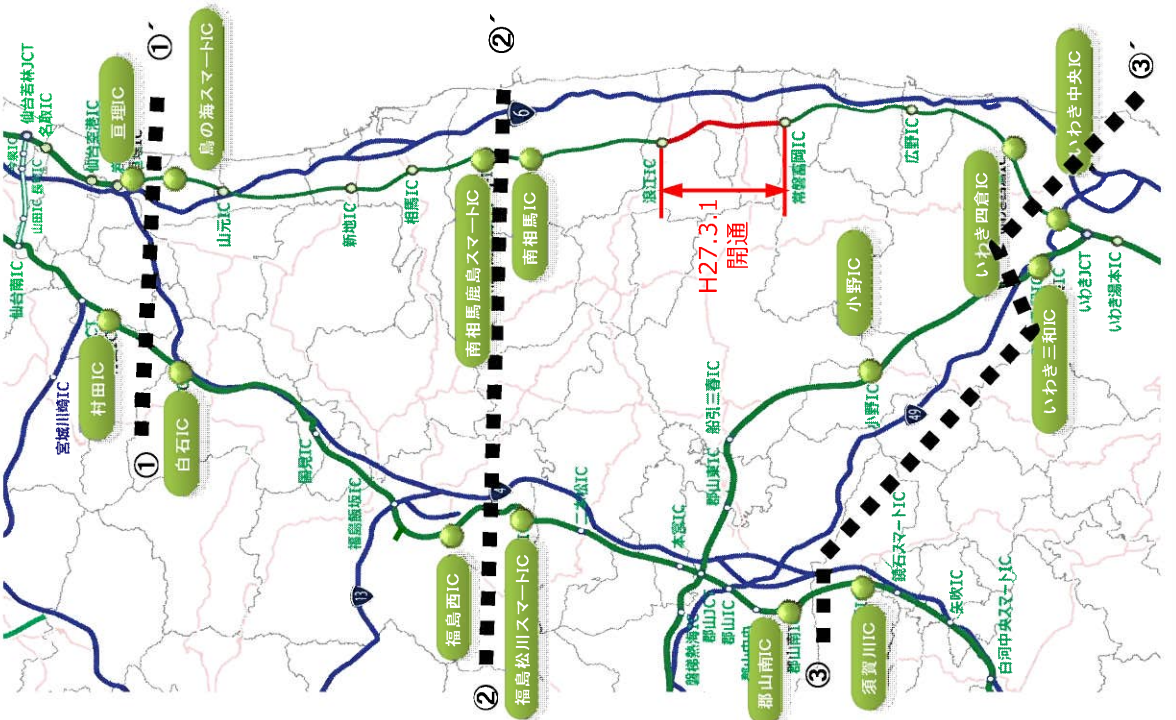
1. 福島県内における事業箇所



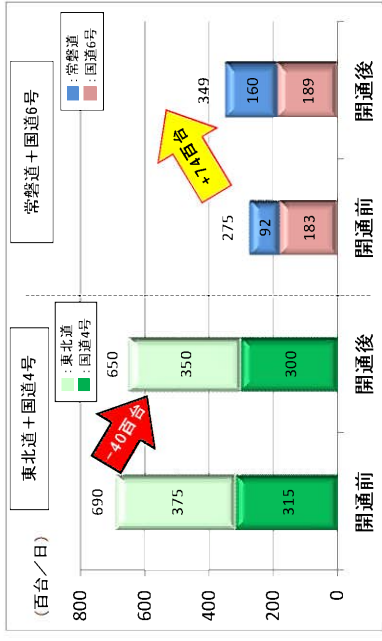
3. 常磐自動車道と国道6号の交通状況



- 内陸部（東北道+国道4号）の交通量が減少（約1～4千台）、沿岸部（常磐道+国道6号）の交通量が増加（約7～8千台）
- 特に、内陸と沿岸部の高速ネットワークの交通量に大きな変化（東北道の交通量⇒約1～3千台減少、常磐道の交通量⇒約6～7千台増加）

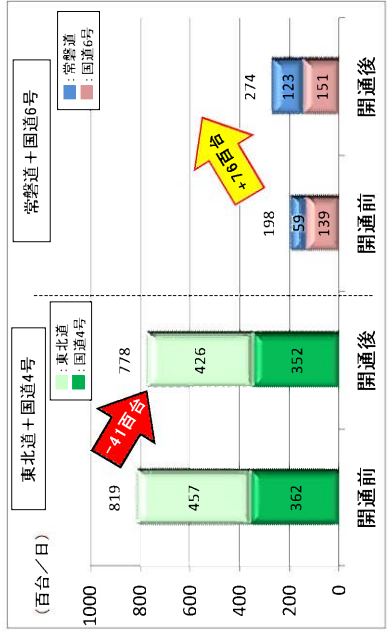


①-①' 断面



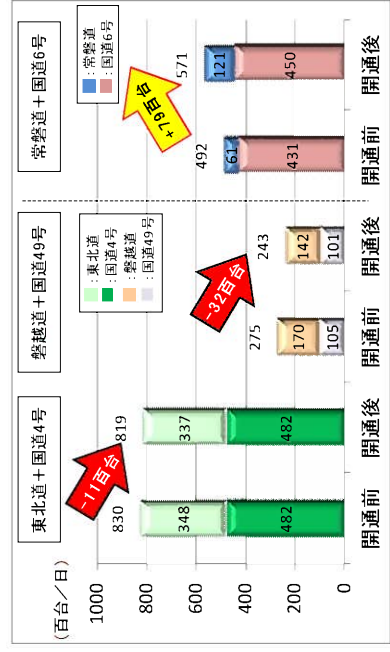
・東北道: 村田IC～白石IC間
 ・常磐道: 巨理IC～鳥の海スマートIC間

②-②' 断面



・東北道: 福島西IC～福島松川スマートIC間
 ・常磐道: 南相馬鹿島スマートIC～南相馬IC間

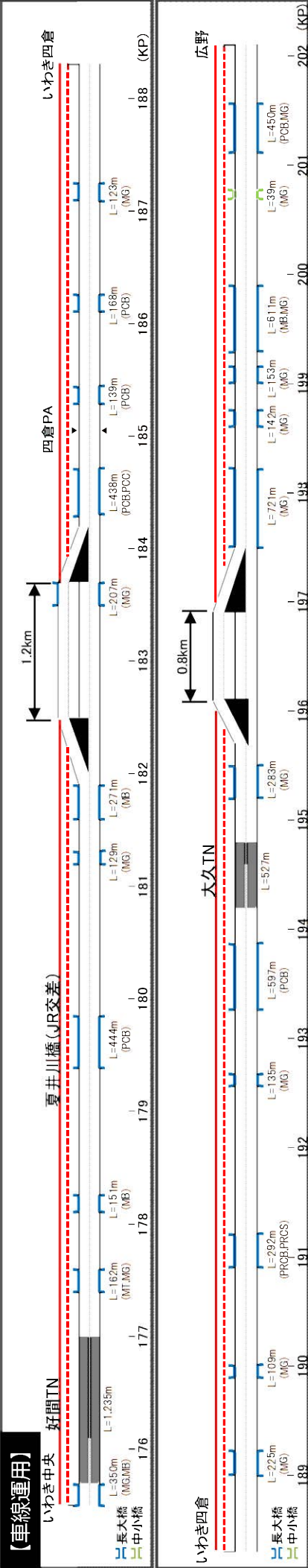
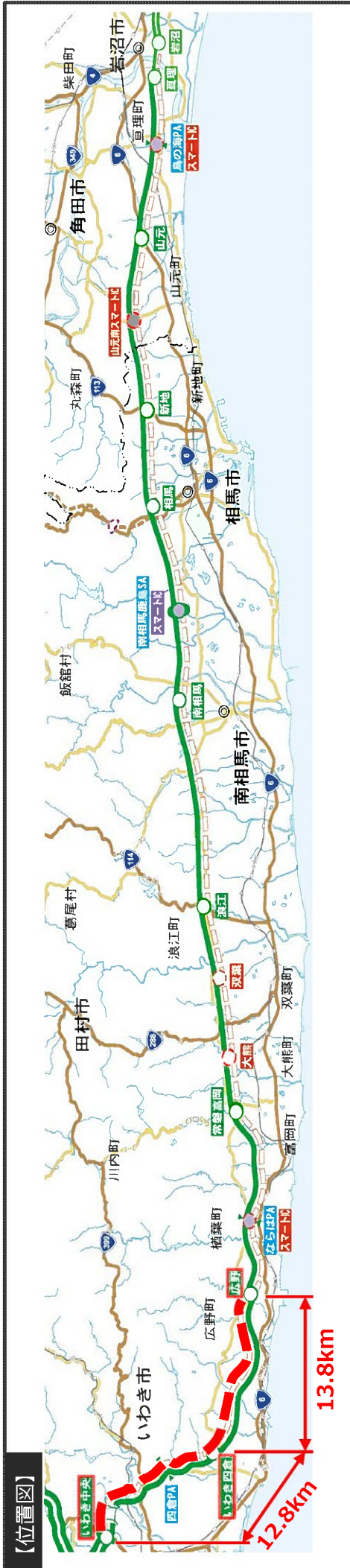
③-③' 断面



・東北道: 郡山南IC～須賀川IC間
 ・磐越道: 小野IC～いわき三和IC間
 ・常磐道: いわき四倉IC～いわき中央IC間

【出典: 国土交通省東北地方整備局、
 NEXCO東日本データ】
 ・開通前: 平成26年3月1日(土)～
 ・開通後: 平成27年2月28日(土)の日平均値
 平成27年3月2日(月)～

4. 常磐自動車道4車線化事業概要①



- 【4車線化施工数量】**
- 土量: 約60万m³
 - トンネル: 2箇所(好間TN 1,235m、大久TN 527m)
 - 橋梁: 22橋(総延長 約6,200m)
- 【本線土工工事】**
- 7件契約済、2件手続き中
- 【用地状況】**
- 用地買収: I期線の際に買収済み
 - 埋蔵文化財: I期線の際に調査実施済み
- 【工事用進入路計画】**
- 既存道路(側道等)を利用
- 【詳細設計の状況】**
- トンネル詳細設計: 実施中
 - 道路詳細設計: 実施中
 - 橋梁詳細設計: 実施中
- 【その他協議状況】**
- JR交差: 関係機関と協議中(常磐夏井川橋)

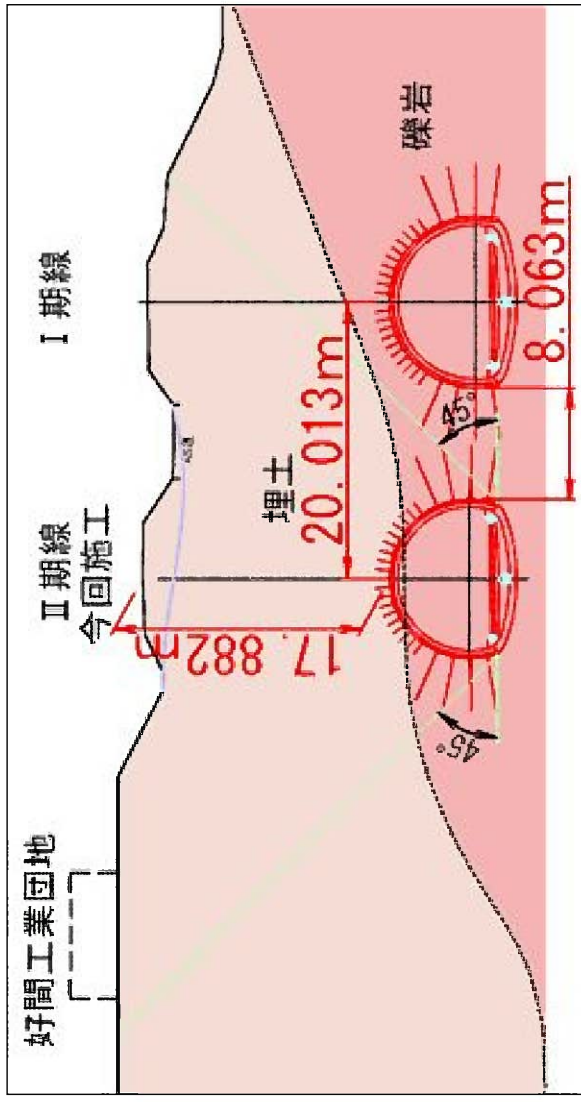
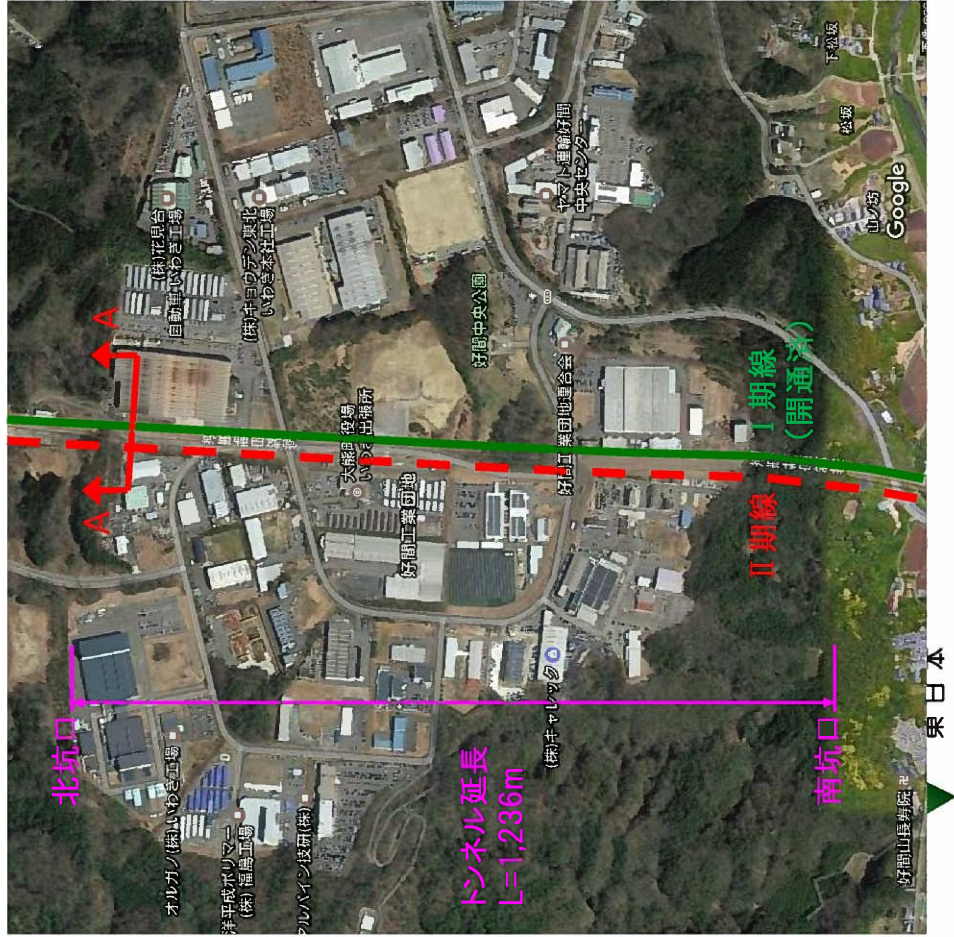


4. 常磐自動車道4車線化事業概要②



- ◆ 好間トンネルは、常磐自動車道 いわき中央IC～いわき四倉IC間に位置するL=1,236mのトンネルである。
- ◆ トンネルの上部は、東西に延びた丘陵地を切盛して造成が行われた好間工業団地となり、埋土を含み低土被りとなっている。
- ◆ II期線トンネル掘削時には、振動及び地表面変位等の好間工業団地区への影響と、I期線トンネルの変状・影響に留意する。

航空写真







土被り厚(埋土含み)：約18m

・トンネルが一部埋土部を通過する。

4. 常磐自動車道 4 車線化事業概要③

- ◆常磐自動車道 いわき中央IC～広野IC間は主に山間部を通過する為、橋梁22橋(長大橋21橋、中小橋1橋)がある。
 - ◆橋梁の総延長は、約6kmを越え(最大:折木川橋 L=721m)、橋梁下部工の施工基数は140基と多数であり、また、平均施工高さL=24mで、最大は折木川橋の高さ48.8mである。
- また、常磐夏井川橋は、JR磐越東線を横過する橋梁である。

※ I 期線の事例

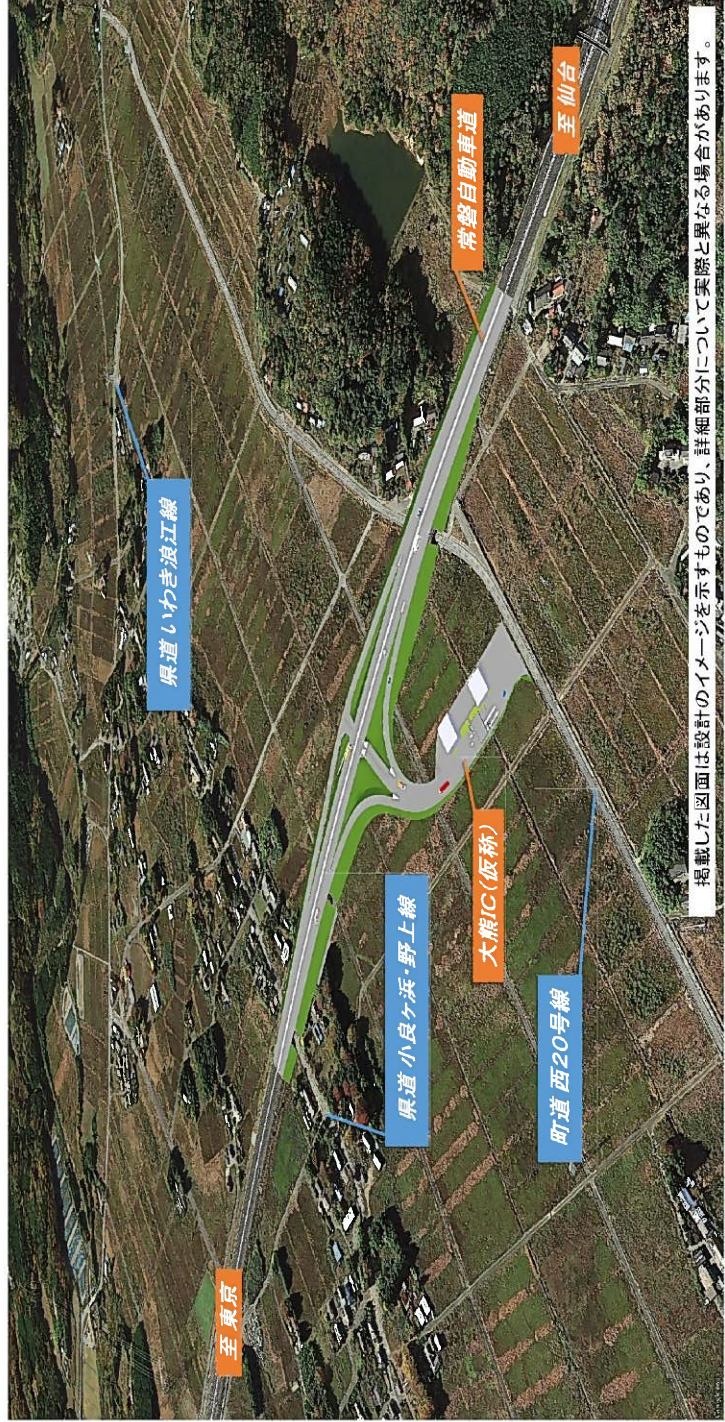
橋梁名称 橋梁延長	常磐夏井川橋(ジョウバンツインツイガイワシ) 444.0m	橋梁名称 橋梁延長	大久川橋(オオヒサカワハシ) 596.5m
		橋梁名称 橋梁延長	北迫川橋(キタハカワハシ) 450.0m
橋梁名称 橋梁延長	折木川橋(オリキカワハシ) 721.4m		

5. (仮称) 大熊インターチェンジ事業概要



【計画概要】

連結許可	平成27年6月12日
事業許可	平成27年8月5日
完成見込	平成30年度
インターチェンジ型式	平面Y型



掲載した図面は設計のイメージを示すものであり、詳細部分については実際と異なる場合があります。

6. (仮称) 双葉インターチェンジ事業概要



【計画概要】

連結許可	平成27年6月12日
事業許可	平成27年8月5日
完成見込	平成31年度
インターチェンジ型式	平面Y型

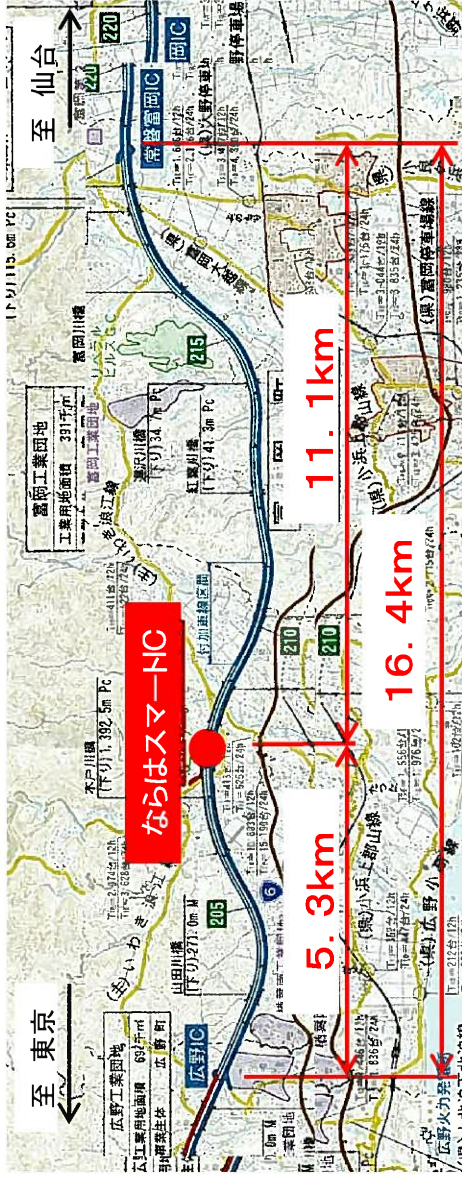


掲載した図面は設計のイメージを示すものであり、詳細部分については実際と異なる場合があります。



東日本

7. ならははスマートインターチェンジ事業概要



【計画概要】

連結許可	平成26年8月8日
事業許可	平成26年8月8日
完成見込	平成30年度
利用形態／運用形態 対象車種	一旦停止型、フルインター／24時間 ETC車載器を搭載した全車種



掲載した図面は設計のイメージを示すものであり、詳細部分については納期と異なる場合があります。

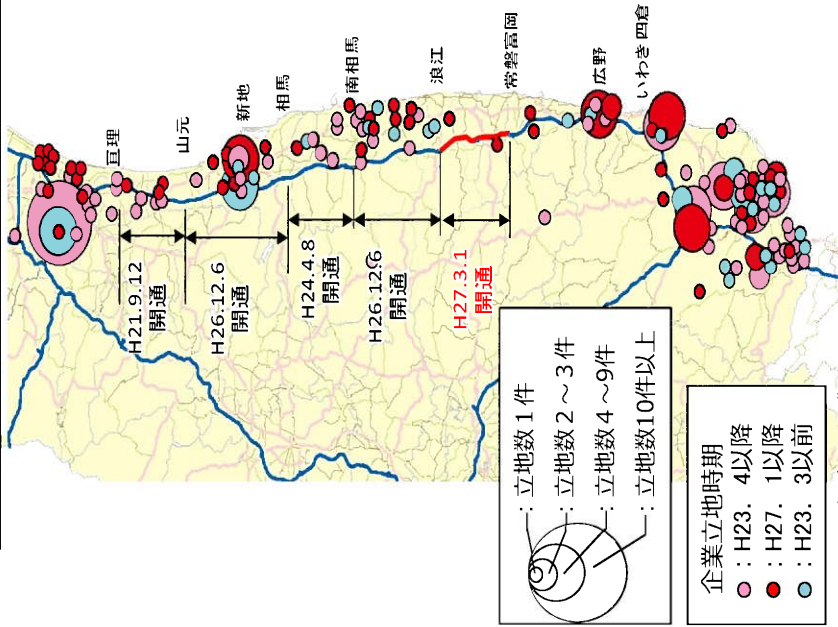


(参考1) 常磐自動車道開通後の整備効果①

H28.12.20発表資料より抜粋

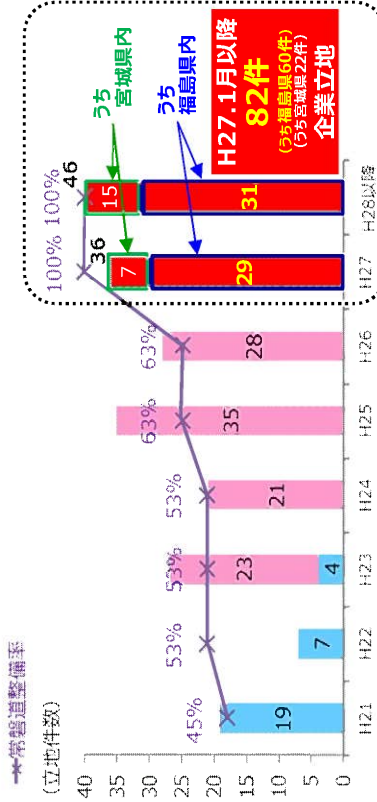
- 現時点で、福島県及び宮城県南部沿岸地域の企業立地数は、最高記録を更新中
- 平成27年1月以降の企業立地投資額による経済波及効果は約1,940億円
- 福島県浜通り地域では、平成27年1月以降の企業立地により約1,500名の新規雇用発生の見込み
- 浜通りの企業立地が地域経済の復興を牽引

▼常磐道沿線地域での工場増新設の動き

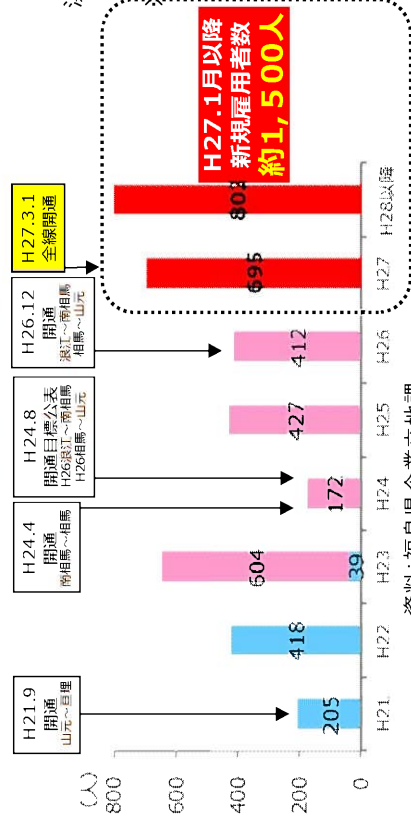


出典：福島県企業立地課
 宮城県産業立地推進課
 ※企業立地年は、届出時(建物着工時)の採算予定年を示す

▼常磐道沿線地域の工場増新設件数の推移



▼福島県浜通り地域における工場増新設に伴う新規雇用者数



資料：福島県企業立地課

平成27年1月以降の
 常磐道沿線地域の
 企業立地82件による
 経済波及効果は約1,940億円
 (H27.1～H30.7)

※福島県・宮城県内の立地企業(福島県・宮城県調べ)の
 投資額(予定額も含む)を基に算出

浜通り地域：いわき市、南相馬市、相馬市、新地町、飯館村、
 広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、
 双葉町、浪江町、葛尾村、名取市、岩沼市、
 亶理町、山元町

※新規雇用者数は、届出時(建物着工時)における予定人数

平成27年1月以降の
 福島県浜通りの
 企業立地60件による
 新規雇用者数は約1,500人

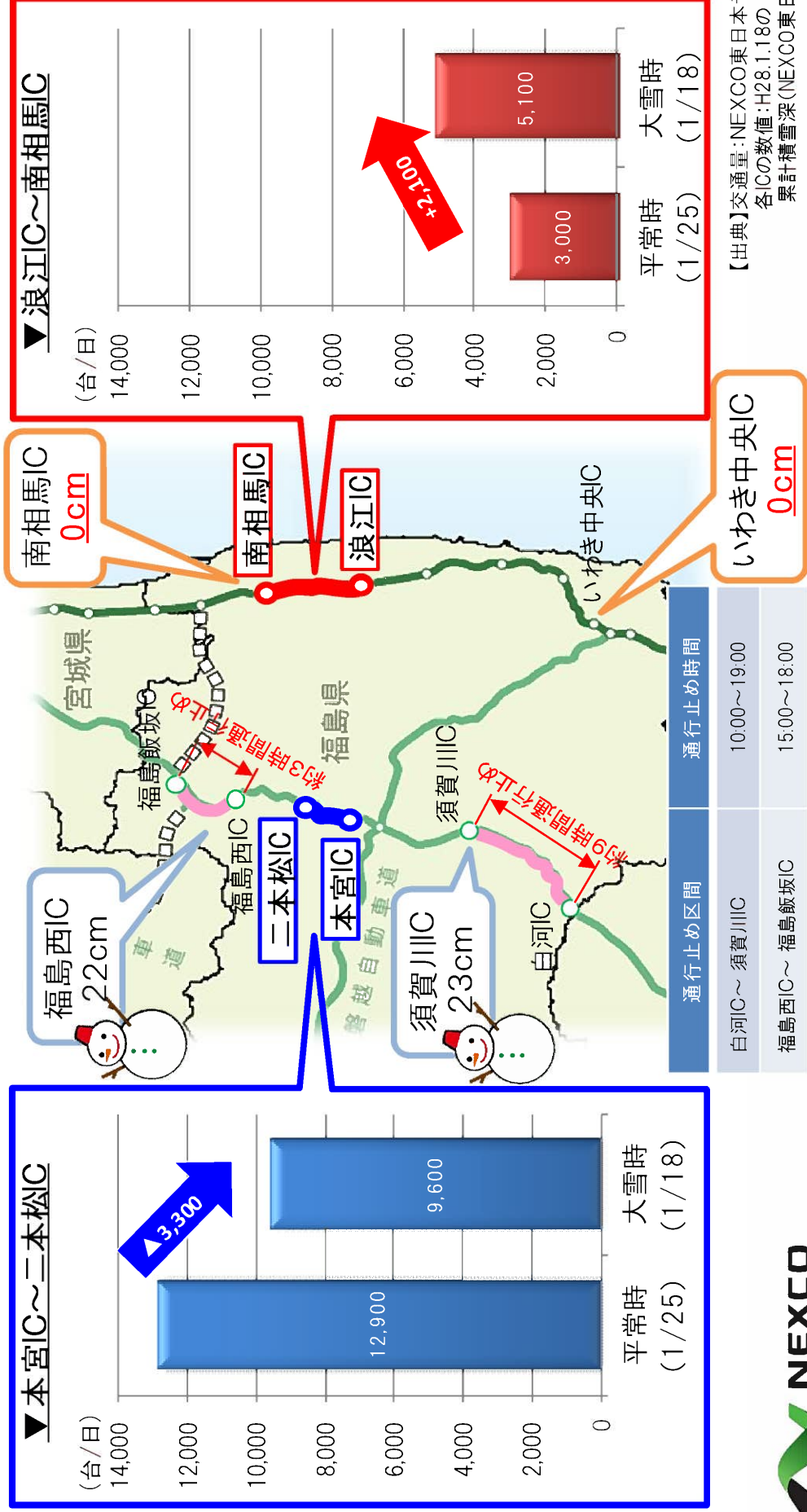
常磐道沿線地域：いわき市、南相馬市、相馬市、新地町、飯館村、
 広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、
 双葉町、浪江町、葛尾村、名取市、岩沼市、
 亶理町、山元町
 ※常磐道整備率は、各年4月1日時点

(参考2) 常磐自動車道開通後の整備効果②

H28.12.20発表資料より抜粋

- 福島県浜通り地方は降雪が少なく、安定した気象状況
- H28.1.18大雪による東北道通行止め時、常磐道の大型車交通量が平常時に比べ約2,100台増加し、代替機能を発揮

▼平成28年1月18日の大雪時の大型車交通動向

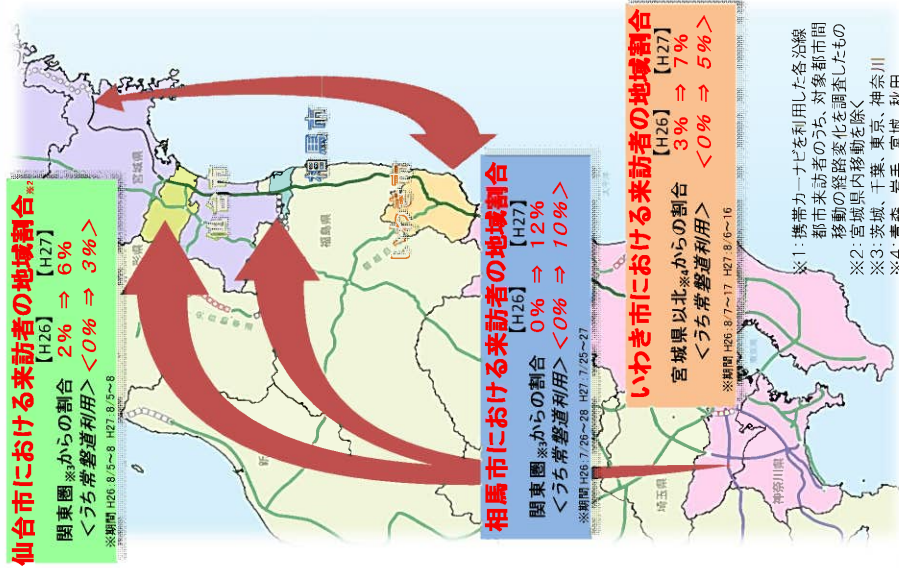


(参考3) 常磐自動車道開通後の整備効果③

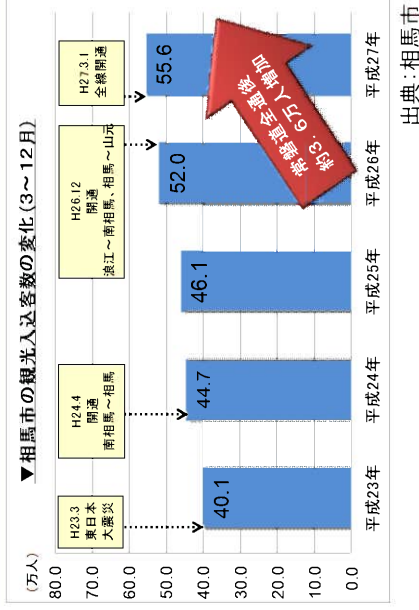
H28.12.20発表資料より抜粋

- 宮城・福島県の常磐道沿線の主要観光地・イベントでは、観光入込客数が震災以降最高を記録
- 常磐道を利用した県外からの来訪者の割合が増加
- 常磐道開通後の観光消費が増加したことによる経済波及効果は約80億円

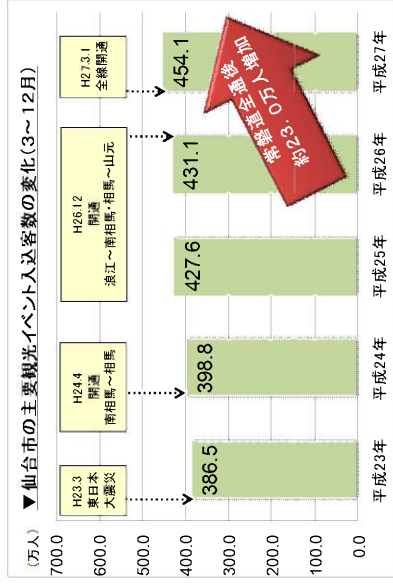
常磐道沿線各都市への観光来訪者割合の変化※1



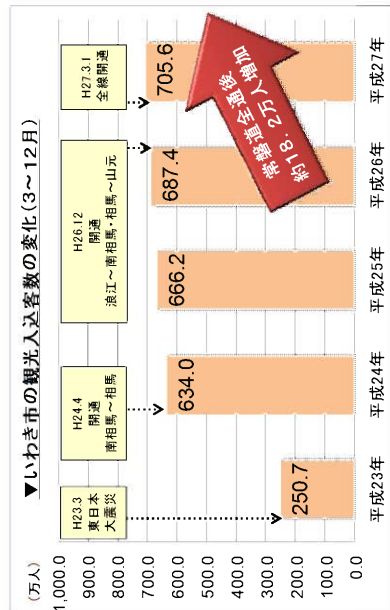
相馬市の観光入込客数が3.6万人増加



仙台市主要観光施設・イベントの入込客数が23.0万人増加



いわき市の観光入込客数が18.2万人増加



3地域の観光来場者が約45万人増加

※5: H26とH27の3~12月を比較

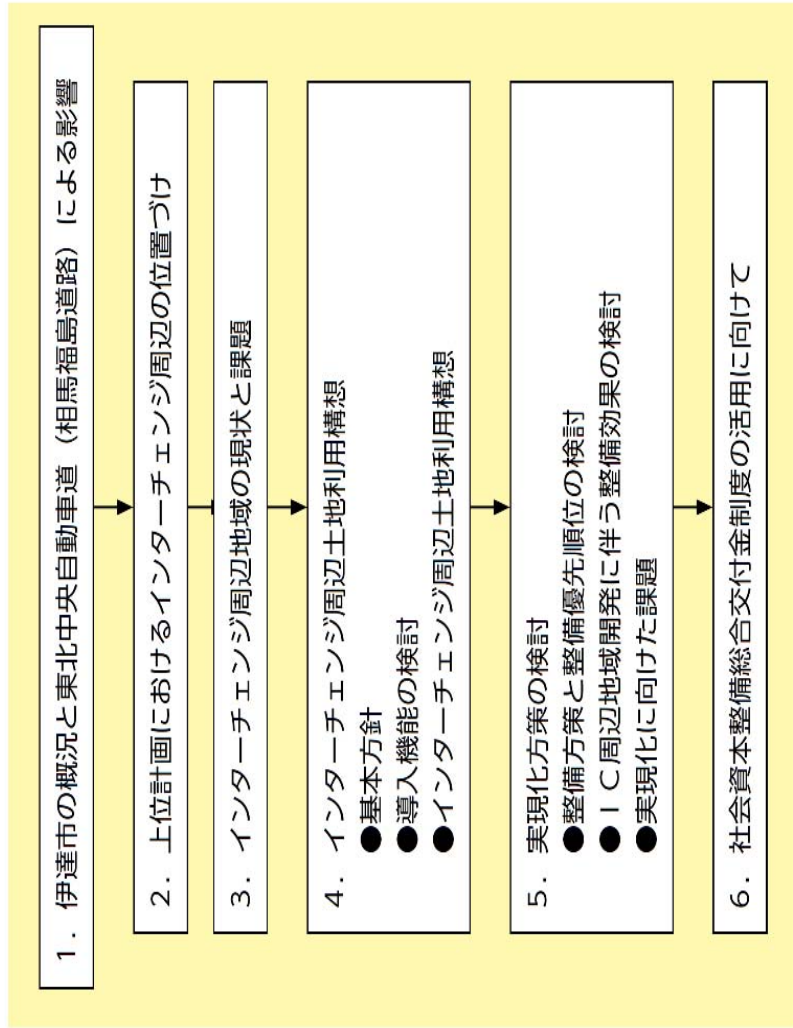
観光消費額が約45億円増加

常磐自動車道の開通後の
 観光消費の増加による経済波及効果
約80億円

背景・目的

都市計画マスタープランにおいて「各市街地の都市機能を補完し、伊達市の復興・再生を牽引する戦略的な都市機能の誘導を図るべき拠点」として位置付けられている。
 相馬福島道路のICの整備を契機に、交通アクセス条件や都市機能の集積、良好な地域環境など、恵まれた立地条件を活かした計画的な土地利用の誘導や将来を見据えた望ましい地域整備が求められている。
 このため、福島保原線IC周辺2km圏を対象に、伊達市の将来の発展を見据えた地域整備構想の検討を行うとともに、構想の実現に向けた整備方策や整備効果等を検討し、構想を策定。

▼相馬福島道路IC周辺土地利用構想の検討過程



整合を図る



■伊達市第2次総合計画

■伊達市都市計画マスタープラン

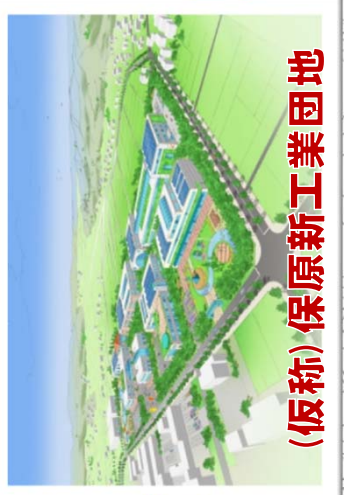
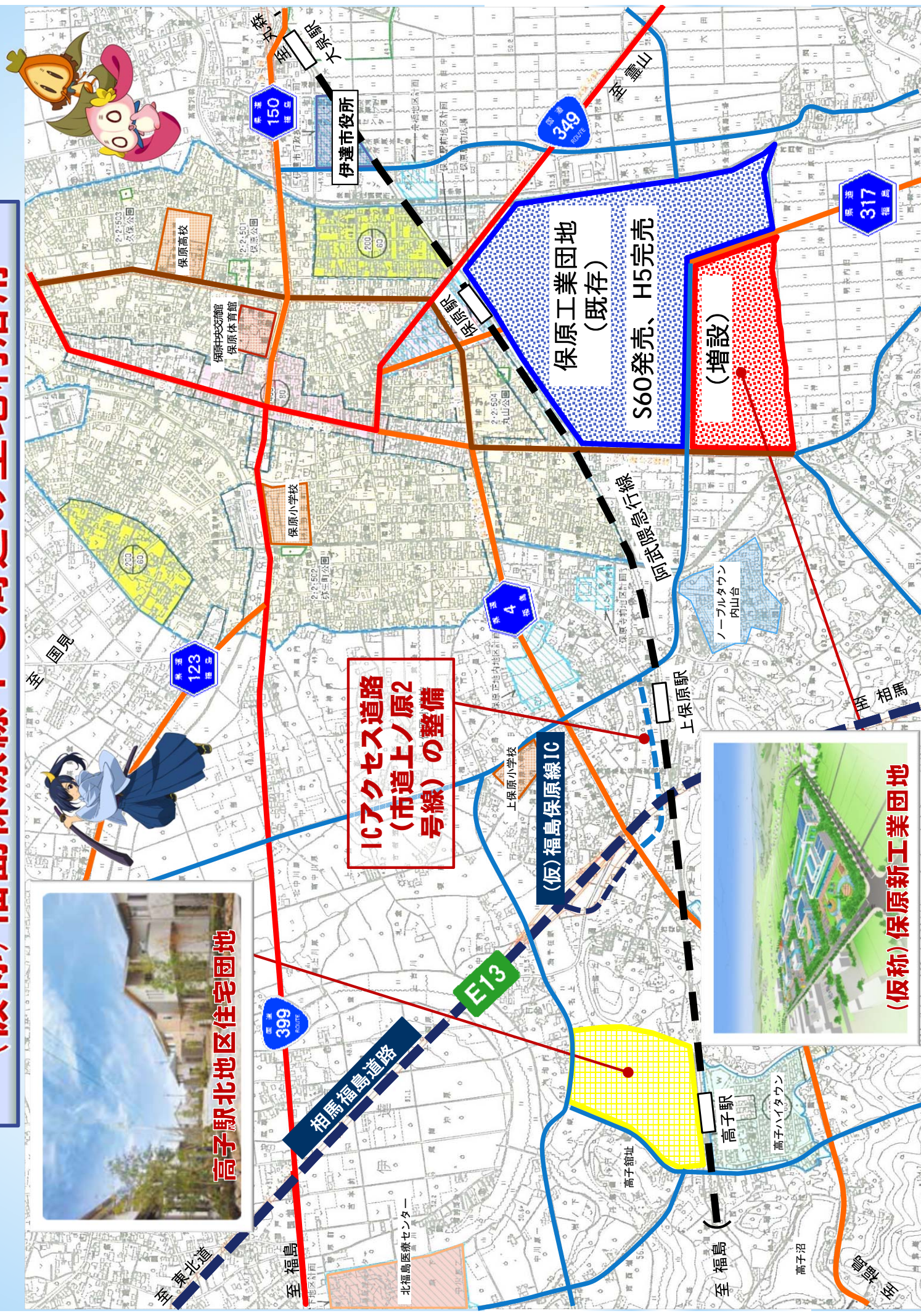
インターチェンジ周辺の土地利用



伊達市内四つのインターチェンジの活用
 交流施設、総合公園、工業団地、宅地開発、多機能型複合施設等を整備
 ⇒ 広域交流・連携の拡大、地域経済の活性化、定住人口の拡大による復興・再生を図
 るためには、**相馬福島道路の全線開通が必要**



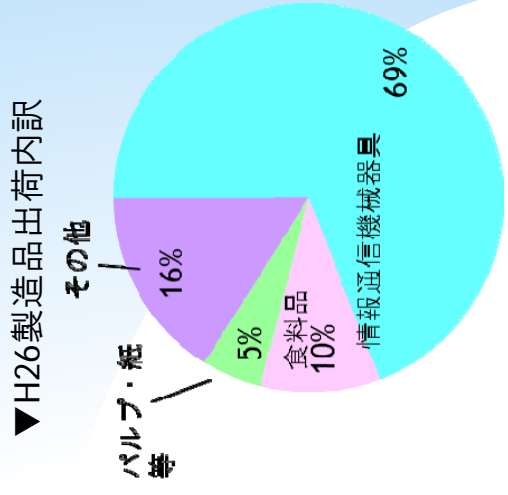
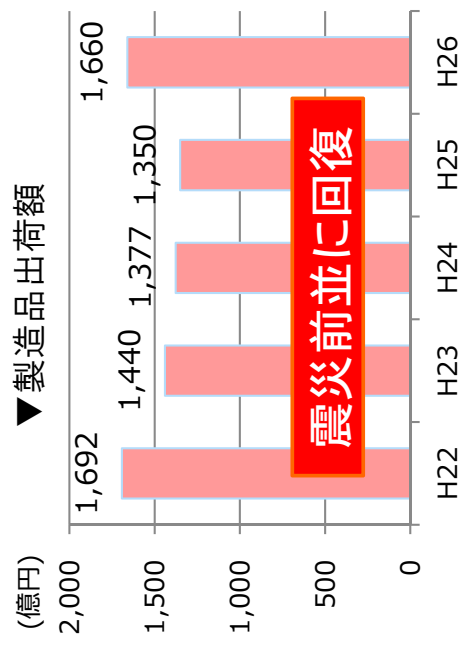
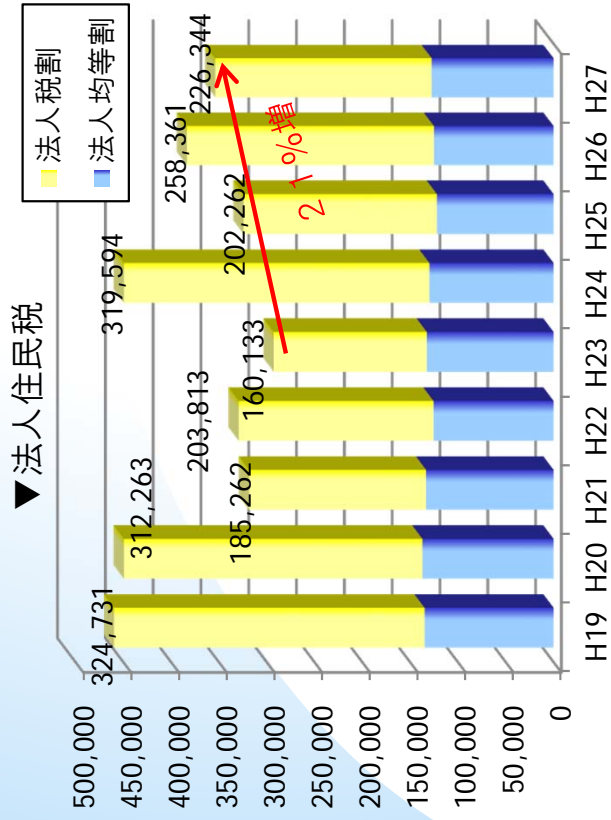
(仮称)福島保原線 IC 周辺の土地利用



「IC周辺の土地利用構想」の実行により地域経済の活性化へ

資料6-1

- 法人住民税は、震災後増加しているものの震災前水準の約7割程度
- 製造品出荷額は震災前の水準まで回復
- 「IC周辺の土地利用構想」を着実に実行し、地域経済の活性化を図っていくことが必要



相馬福島道路の1日でも早い開通を！

- 市としても東京で企業誘致セミナーを開催するなど取り組みを進めているので、相馬福島道路の1日でも早い開通を



- ホテルニューオータニにおいて伊達市主催の企業誘致セミナーをH28.10.7に実施し、57社97名が参加
- 伊達市内にできる4つのインターチェンジの優位性を説明(参加企業感想:市内4つのICは魅力ある)
- 今年度も伊達市主催企業誘致セミナーの開催、首都圏での企業立地フェアへの出席、福島県主催企業誘致セミナーへの参加を計画

復興支援道路 (国道115号)

相馬福島道路の早期開通

『相馬の声を届けよう』



開通目標に遅れることなく一日も早い開通を!!

『高速道路建設促進相馬協議会』

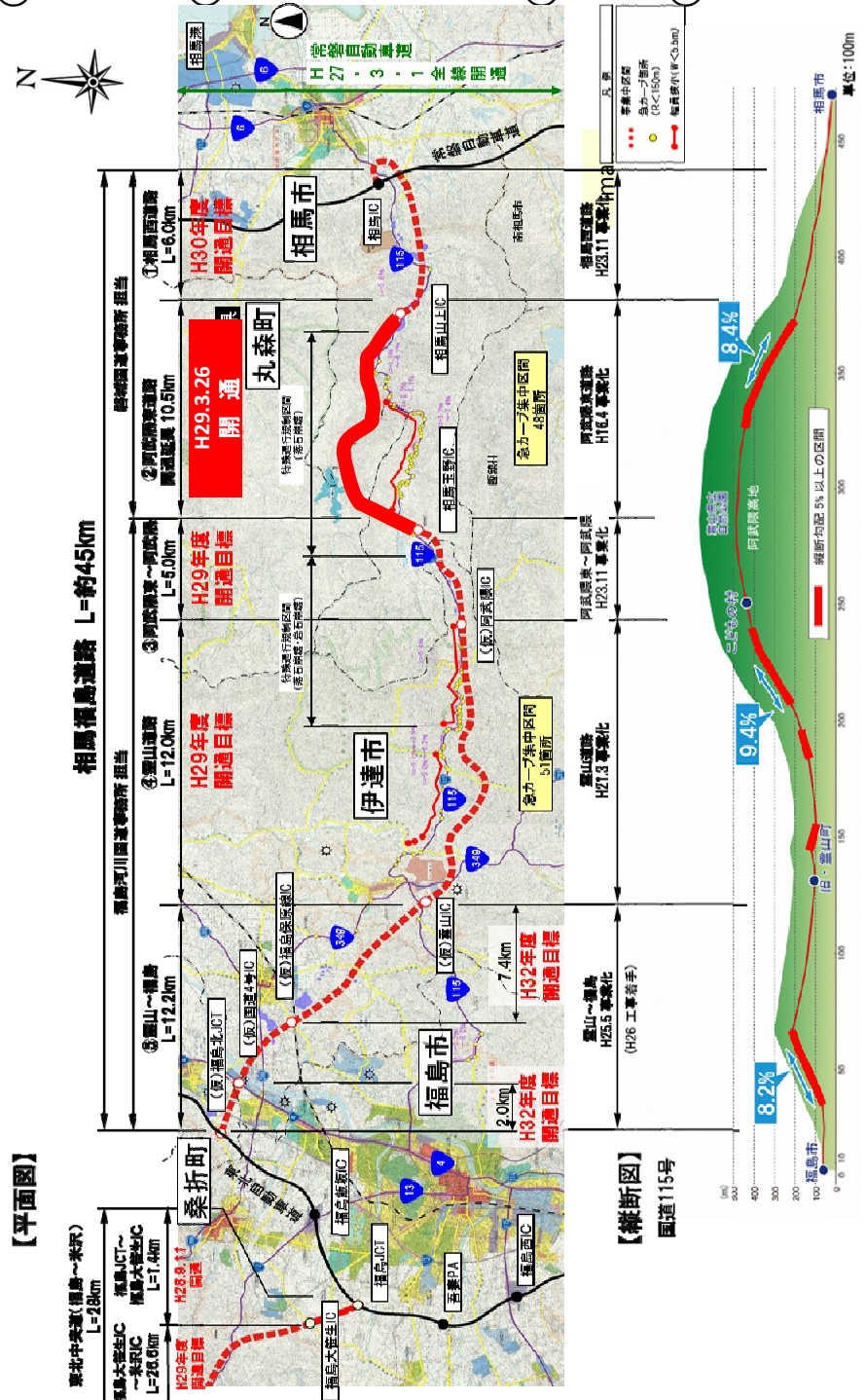
【相馬地方は困っています】

国道115号の線形不良、災害通行規制、度重なる通行止め

○国道115号は相馬市と福島市を結ぶ重要な路線ですが、**線形不良区間が多く、事故が多発**しています。

○**大型車両の通行が困難な状況**であり、海上コンテナ車両等が通行できない上、**豪雨、土砂災害**などの通行規制区間があり、**通行止め**が多く、**冬季の降雪時はスタック車両**などにより国道が利用出来なくなっています。

○**H29.3月に阿武隈東道路 (L=10.5km) が開通**し、相馬市西部の峠部の**線形不良区間が解消**されました。残りの線形不良区間の解消のため、一日も早い「相馬福島道路」の完成を願っています。



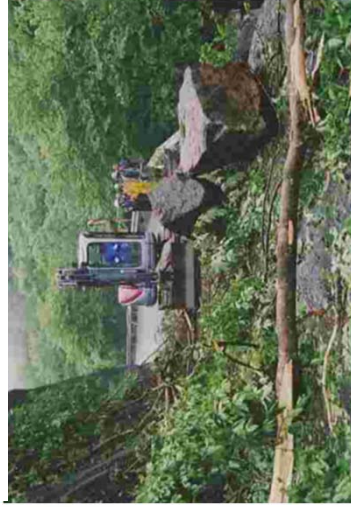
▼降雪(スタック車両)による通行止



▼交通事故発生等による通行止め



▼落石災害発生(H18)約1ヶ月全止



▼緊急輸送道路としての利用

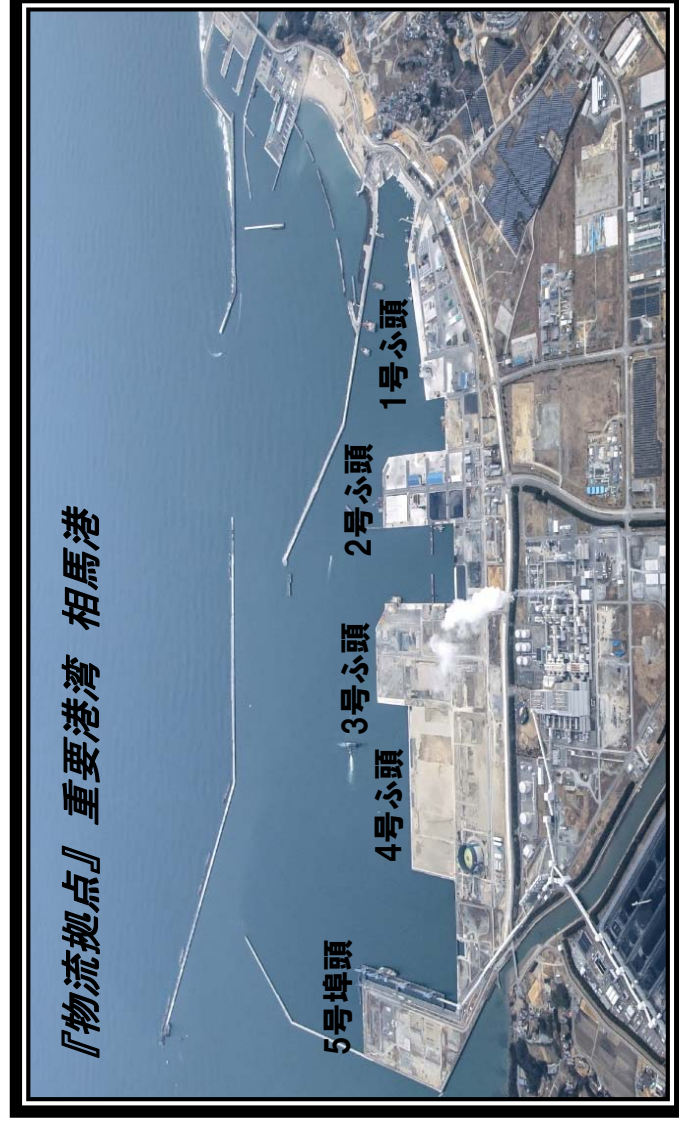


【相馬福島道路の活用(産業振興:港湾の利用促進)】

(重要港湾)相馬港の物流圏域を拡大し、利用を促進します

- 福島県内陸部及び山形県内陸部との荷物輸送時間が大幅に短縮されることで、物流コストの削減及び環境負荷が低減すると共に、新たに相馬港を活用する企業の進出機会を創出します。
- 急カーブや急こう配の多い現道通行から転換することで、荷物輸送の安全性及び信頼性が向上し、相馬港の利用促進が期待されます。
- リダンシーの確保により、悪天候や土砂災害等による現道の通行止めの影響が回避され、物流の定時制が確保されることで相馬港の信頼性が向上します。
- 物流機会の拡大と信頼性の向上により物流の好循環が生まれることで、荷物輸送の効率化が促進され、輸送形態の転換(バラ荷物輸送 ⇒ コンテナ輸送)が期待されます。

46



(福島県相馬港利用促進協議会)

● 日本通運(株)相馬海運支店

支店長 佐藤 正一

● 相馬港湾運送(株)

代表取締役 立谷 幸雄

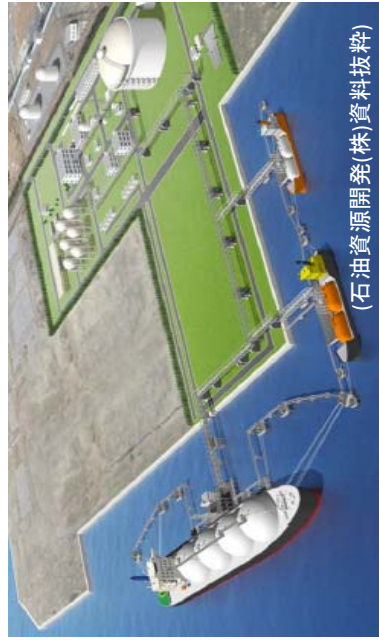
- ・ 輸送時間の短縮・輸送コストの削減・安全性の向上は相馬港をPRする上で重要な要素であり、相馬福島道路の開通は相馬港の利用促進に大きく寄与します。
- ・ 相馬港の利用促進により地域全体が活性化され、地方創生につながることから、一日も早い開通を期待します。

【相馬福島道路の活用(産業振興:企業誘致・流通・雇用)】

相馬の地場産品や工場製品の流通エリアを拡大し、企業参入を促進

- 相馬中核工業団地などへの企業誘致を積極的に進め、雇用を促進します。
- LNG受入基地、再生可能エネルギー技術の活用などにより、新たな産業の創生を図り、相馬地域の産業・経済の再生を目指します。
- 相馬地方の地場産品や工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、企業の増加や地元企業の売上が向上し、従業員の所得向上等が期待できます。

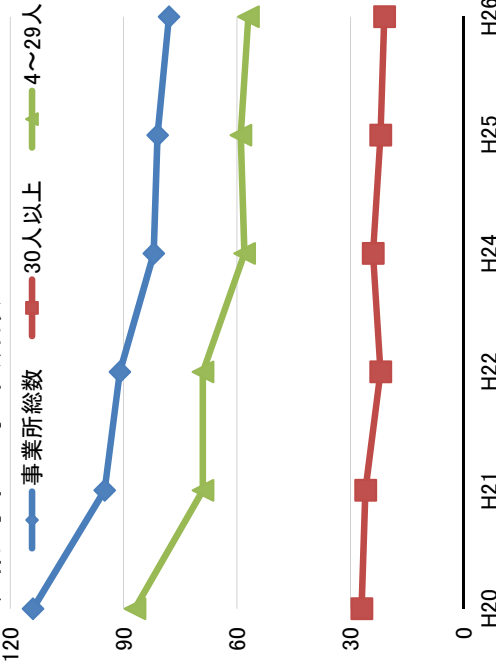
[相馬LNG基地完成予想図]



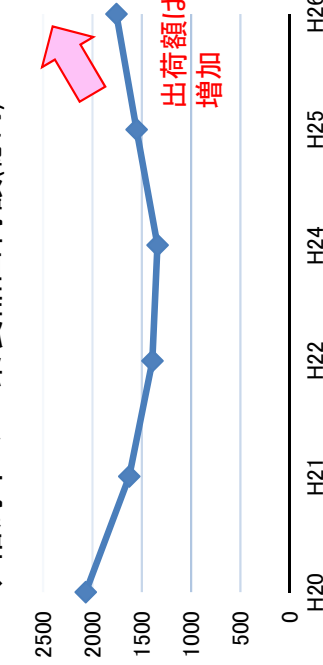
[建設予定地:相馬港4号埠頭地区]



◇相馬市の事業所数



◇相馬市の工業製品出荷額(億円)



(相馬中核工業団地
企業業誘致促進協議会
会長)



相馬商工会議所
会頭 草野 清貴

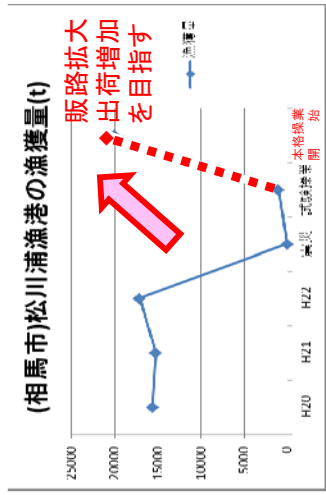
- ・平成30年3月に操業開始する相馬LNG基地の進出と併せて、関連企業の誘致を促進していきます。
- ・相馬福島道路の開通は、相馬中核工業団地への企業誘致や相馬地方の地場産品、工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、新規企業の参入、企業の設備投資の増加、販売額の増加、従業員の所得向上、雇用の促進等が見込まれ、相馬地域の地方創生に大きく寄与するものと期待しているところであり、一日も早い開通を望みます。

H30相馬LNG操業開始、企業誘致に相馬福島道路の開通が不可欠

【相馬福島道路の活用(産業振興:漁業)】

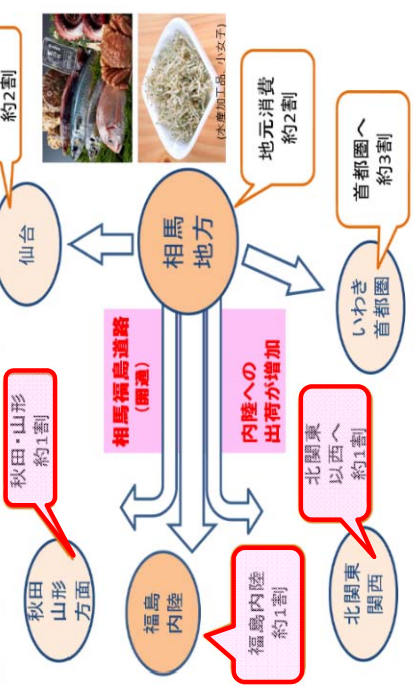
相馬地方の地場産業である漁業の復活・再生と販路拡大を促進

- 津波災害や原発事故による漁獲制限、風評被害により、福島県浜通りの漁業は壊滅的なダメージを受けましたが福島随一の近海水揚げを誇る相馬地方の漁業を復活・再生させます。
- いつでも本格操業に移行できるよう、早期の安定供給と経営再開を実現するための施設整備を早期に行います。
- 消費地域の拡大による漁獲量の増加と、加工産業等販売エリアの拡大により、漁業従事者の雇用環境の改善と後継者の育成を促進します。



- ◆試験操業対象魚種 97魚種 (H29.5月末時点)
- ◆試験操業水揚げ高 H28:約1,800t (震災前の約1/10、H24の約15倍)

【(相馬)松川浦漁港の流通先】



原釜荷捌き施設・海水浄化施設(H28.9月完成)
(セリ場、活魚水槽、放射能検査室、海水浄化等)



相馬双葉漁業協同組合
代表理事(組合長)
立谷 寛治

・現在は試験操業中ですが、震災前、相馬市松川浦漁港の鮮魚の消費割合は、地場消費が約2割で、相馬市外への出荷が約8割です。北は仙台方面、南はいわき、首都圏方面、一部福島県内陸部や山形方面にも出荷しております。

・常磐道の全線開通により首都圏への出荷量の増加が見込まれますが、相馬福島道路が開通すれば、これまで以上に、トラック輸送が容易となるため、福島県内陸部や山形方面、関東方面への販路拡大が見込まれ、本格操業に移行した際の出荷に大きく弾みがつくものであり、是非、本格操業開始前の早期開通を期待しているところです。

・阿武隈東道路の開通のおかげで、カーブや勾配の最もきつい区間が解消され、魚の荷傷みの発生を抑え、内陸の方々によりおいしい魚を届けることができるようになりました。

※本格操業開始前に、相馬福島道路の開通が不可欠

【相馬福島道路の活用(産業振興:漁業)】

平成28年4月の営業開始以来、主力の加工品の販路拡大に注力。

- 相馬双葉漁業協同組合と仲買業者、水産加工業者が結集し、地元水産物の加工、流通を復活させるため、事業協同組合を設立。
- 地域を挙げた新しい水産加工流通システムの構築により、震災以前の姿を取り戻すだけでなく、安全の管理と、鮮度・品質の向上に取り組み、当該道路を活用した販路の拡大を目指します。



磯部水産加工施設(H28.2月完成)
(加工室、梱包・検査室、冷蔵室冷凍室、管理事務所、直売所等)



しらす干し



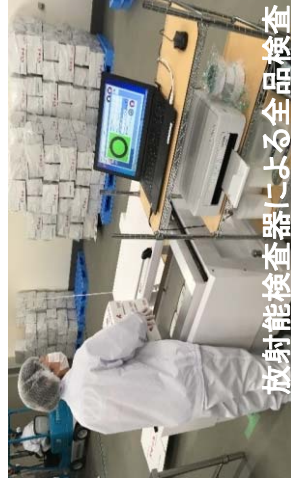
ポイルホッキ貝



ポイルつぶ貝



加工機器 煮釜・乾燥機等



放射能検査器による全品検査



小女子販売

- ◆原魚取扱量(H28年度)
約 266,000t
- ◆加工品目
小女子、シラス、ホッキ(ポイル、貝柱とひも、粕漬)、カレイ(一夜干し)、タコ(粕漬、味付けタコ)、ツブ(ポイル)
- ◆営業日
平日、土曜日、第1・3日曜日

相馬市磯部地区 水産物流通加工業 協同組合

理事長 島 寿雄



・相馬地方の漁業は、東日本大震災により壊滅的な被害を受けました。とりわけ、ここ磯部地区は加工施設も多くありましたが、ほとんどの施設が流出してしまいました。当組合は、そのような中で以前この地区で盛んだった水産物加工を復興させるために設立しました。

・しかし、震災から6年経過した今も水揚げされた魚介類の安全性を確認しておりますが、未だに風評が根強く残り、完全に拭い去ることはできておりません。

・私たちは、水揚げから、加工・流通まで一人ひとりが責任を負い、「絶対に安全な商品しか出荷しない」という強い信念を抱いて、福島県内はもとより全国へ復興を応援いただいた皆様に對する恩返しをしたいと決意しております。

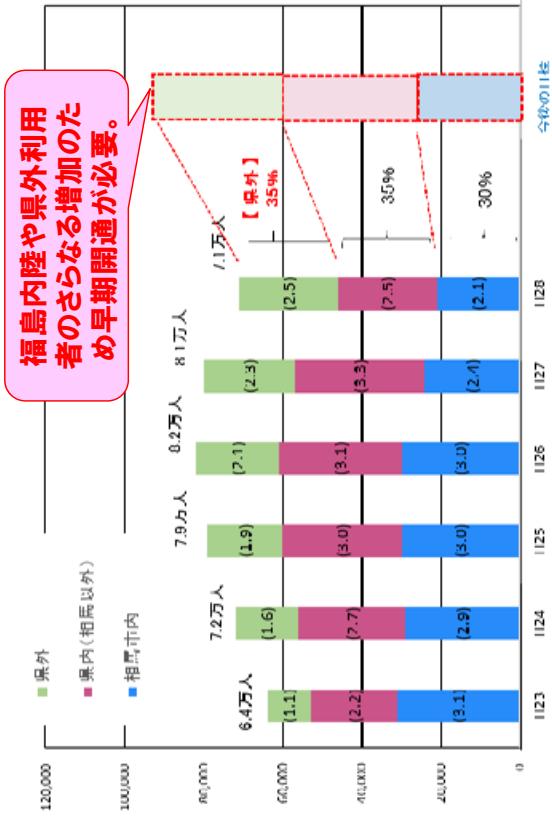
・この思いを成し遂げるためには、相馬・福島道路の早期整備が販路拡大のために必要不可欠な存在であり、強く切望するものです。

【相馬福島道路の活用(観光振興)】

東日本大震災により被災した、名勝松川浦の再生と、相馬地方の創生を目指すスポーツ観光振興により、相馬地方の創生を目指す

- 美しい自然と温暖な気候に恵まれた相馬地方は、松川浦県立自然公園や相馬野馬追や相馬民謡など豊富な観光資源があり、観光窓口として、「相馬観光復興御案内処」を設置し、観光情報の提供や宿泊所の調整などワンストップサービスで提供するなど、観光振興を促進します。
- 相馬市ではスポーツ交流人口の拡大を目指した取り組みを促進しており、パークゴルフ場、サッカー場、ソフトボール場、全天候型の相馬こどもドームなどの施設を整え、各種大会や合宿等のイベントを企画して、交流人口の拡大を促進します。

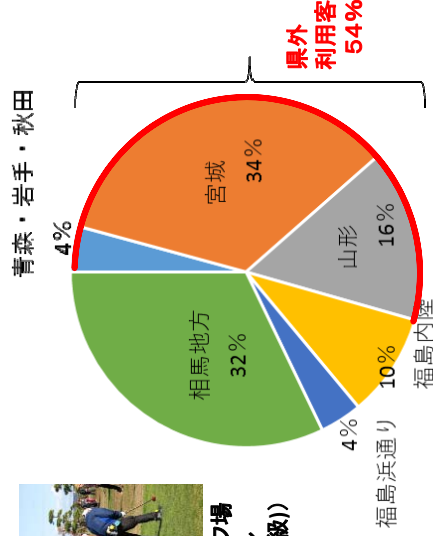
相馬光陽パークゴルフ場(利用者数)



相馬光陽パークゴルフ場
(9コース81ホール
(東北最大級))

2017 「NEXCO東日本」杯パークゴルフ大会
(常磐道全線開通記念2周年：H29.3.4)

地域別参加者割合 (約280名)



相馬光陽サッカー場
(天然芝3面、人工芝2面、サブ1面)



相馬光陽ソフトボール場(4面)



(相馬市スポーツ交流
促進協議会)
NPO法人
光陽パークゴルフ
専務理事
門馬 善治郎

- ・パークゴルフ場の利用者は、常磐道の開通などによって、県外からの利用者が増えつつあります。
- ・さらに、相馬福島道路の開通により、福島内陸や山形方面などの県外の利用者の増加を見込んでいるため早期の開通を望みます。
- ・各種大会参加者や、冬季の利用者確保のため、様々なイベントを企画して、スポーツ交流を促進し相馬地方の観光振興を進めていきます。

相馬こどもドーム(人工芝約1,000m2)

被災地の復興を支援し、「地方創生」に資する

復興支援道路『相馬福島道路』については
確実に整備を促進し、一日も早い開通を図ること

大型車のすれ違いが困難



積雪により道路幅員がさらに狭小



急勾配・急カーブの連続で事故多発



スタック車両等による頻繁な通行止め



21世紀の追分推進プロジェクト

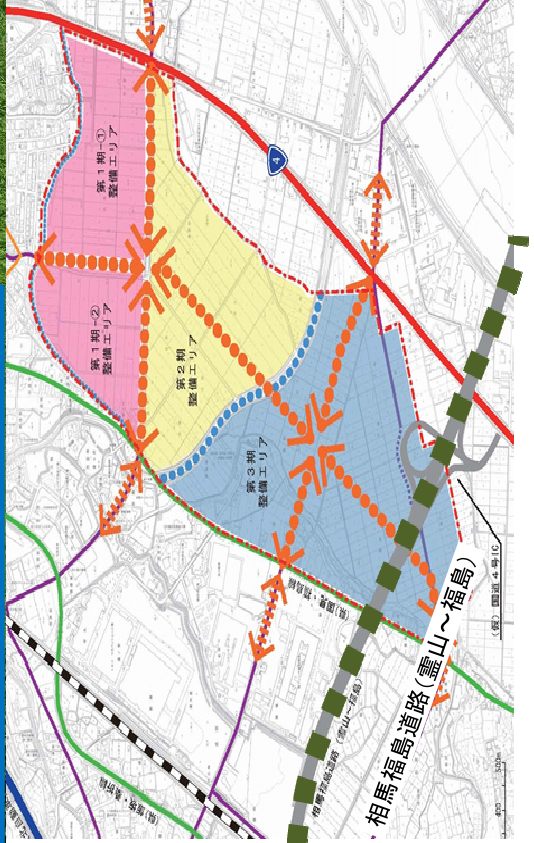
相馬福島道路開通を見据えた(仮称)国道4号IC周辺の土地利用【桑折町】

■ 東日本大震災からの復興支援道路として、その整備効果を着実に発揮させていくために(仮称)国道4号IC周辺の新しい土地利用について幅広く検討を進める必要があり、関係機関と力をあわせて、広域的な経済発展を目指して開発を進めて参ります。

桑折高架橋完成予想図



◎相馬港や仙台空港に直結する高次元物流基盤の確立による南東北エリアの物流連携の拡大



【21世紀の追分推進プロジェクトの目指す姿】

奥州街道と羽州街道の分岐点、交通の要衝として栄えた「桑折宿」のように相馬福島道路を活かした効果的な土地利用を図り、移住・定住を視野に企業誘致と新たな雇用の創出に努め、広域的な地域経済発展の拠点形成を目指します。

【主な推進スケジュール】

主な取り組み項目	H29	H30	H31	H32	H33
(1) 相馬福島道路整備	▶				
(2) ① 実証化方策の検討 (民間事業者の選定) ② 事業着手 (民間事業者との基本協定締結)	▶				

桑折駅前団地



◎駅前公有地を中心とした市街地の土地利用との相乗効果



桑折工業団地

◎流通拠点としての工業団地との連絡や産業面の活性化



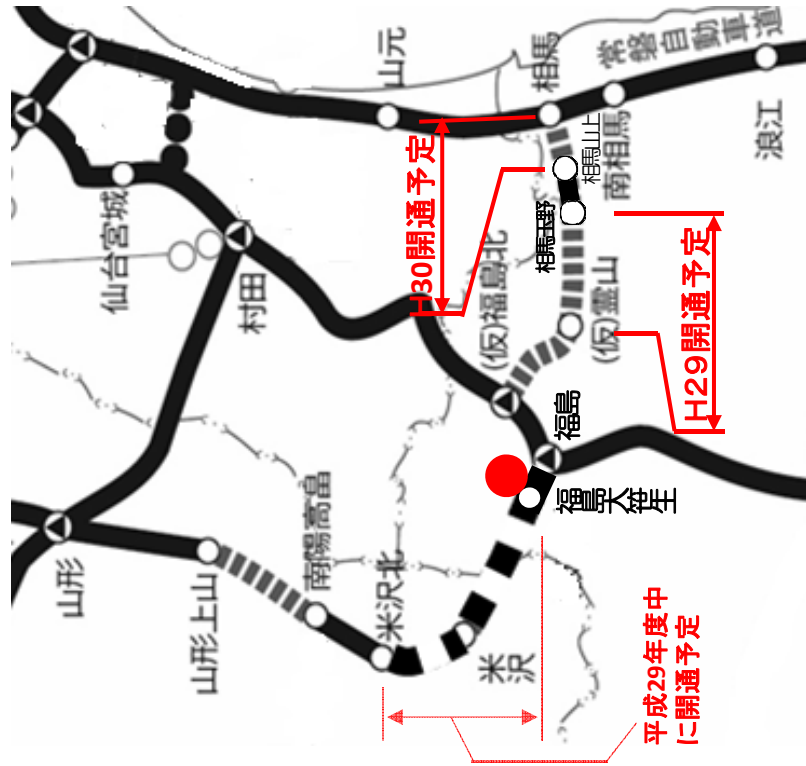
◎献上桃をはじめとする地元特産物の販路拡大を推進

東北中央道・相馬福島道路開通により更なる経済効果を期待!!

福島市

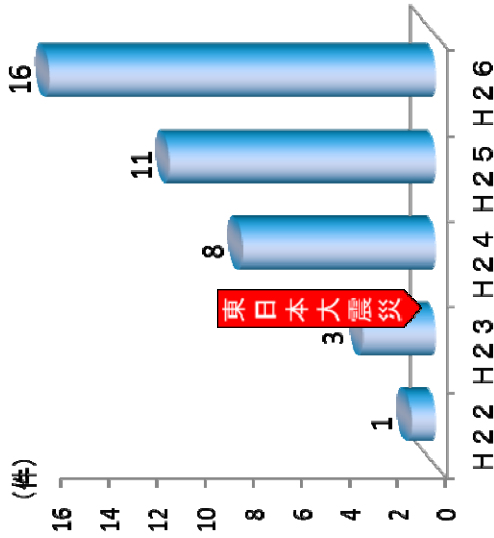
資料6-4

福島市では、工場の新増設が震災後も堅調に増加し、法人市民税も震災前に比べ約5割増加。東北中央自動車道・相馬福島道路の開通の効果をより発揮させるため、福島大笹生IC周辺に工業団地を計画。

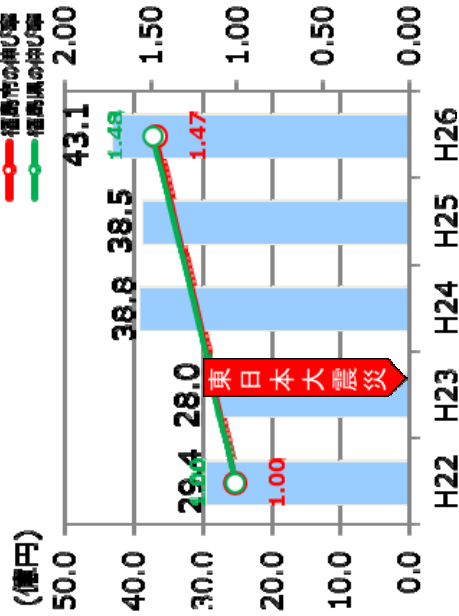


【新工業団地の予定】
平成29年度中に造成工事着工予定。
平成30年度中の分譲を目標。

福島市の工場新増設企業数の推移（累計）



福島市の法人市民税の推移



◇福島市の魅力や、全国トップクラスの企業立地優遇制度等を紹介するために東京で企業立地セミナーを開催。
◇企業からの新工業団地に関する相談等を受付中。

新工業団地のPRポイント!

- ☞ 東北自動車道と東北中央自動車道の結節点
- ☞ ICに隣接しアクセスが良好
- ☞ 福島大笹生IC～米沢北IC間、相馬IC～(仮)国道4号IC間は無料区間でコスト削減
- ☞ 立地の際の優遇制度も充実

相馬福島道路・東北中央自動車道で仙台空港と直結した5,000万人観光周遊圏が完成
 観光振興により復興を加速！

資料6-4

観光振興に向けて、相馬福島道路・東北中央自動車道(福島～米沢間)の沿線自治体および商工・観光関係団体と連携して『全国街道交流会議 第11回全国大会 福島大会』を結節点となる福島市において開催し、新しい街道として相馬福島道路・東北中央自動車道を全国にPR。

今後も広域的に連携し、「共通の観光資源等の活用」により地方誘客を行い、新たな観光需要を創出する。



復興道路・復興支援道路の整備効果事例発信

○復興道路・復興支援道路の開通による、整備効果事例等を幅広く情報発信するため、東北地方整備局の復興道路ホームページにおいて、整備効果事例等を掲載したページを開設

3.11 復興道路・復興支援道路情報サイト

F 復興道路

このホームページは、「復興道路」「復興支援道路」の進捗状況を国民の皆様方にお伝えするために作成しているものです。

「東北の道路」の総合情報サイト

復興道路の概要

事業進捗状況

開通目標

整備効果事例


各県のお問合せ

リンク

○整備効果事例を掲載しました

復興道路・復興支援道路の概要

下図の県名・市町村名・路線名をクリックすると詳細ページへ移動します。



復興道路・復興支援道路の総延長550km
H23 補正新規区間223km (41%)

路線名	計画延長	H29.3.30時点		うち	
		供用中	事業中	H23補正新規	H25新規
三陸沿岸道路	359km	170km	189km	148km	—
宮古盛岡横断道路	66km	24km	42km	35km	—
東北横断自動車道 釜石秋田線	80km	63km	17km	17km	—
東北中央自動車道	45km	11km	34km	11km	12km
合計	550km	268km	282km	211km	12km

↑ここから↑

● 記者発表

- 平成 29 年
- 6月14日 復興道路・復興支援道路の整備は精進に達し～被災地の復興に大きく貢献～
- 6月2日 岩手県 『公共ブランド』（釜石地区）が生コン安定供給に貢献～三陸沿岸道路「新巖台トンネル」への生コン供給が終了～
- 5月18日 岩手県 【宮古盛岡横断道路（宮古横石道路）】下川井地区でトンネル北安全折戻架を開通～5月18日（木）下川井トンネル北工事の安全折戻架を開通～

これ以前の情報はコチラ

● 進捗に関する新規情報

- 5月31日 【宮古盛岡横断道路 宮古横石道路 下川井トンネル（仮）安全折戻架】の開通状況を掲載しました。
- 4月25日 【三陸沿岸道路 菅代道路 菅代小・中学校合同津波避難訓練】の開通状況を掲載しました。
- 3月30日 【三陸沿岸道路 田老岩泉道路（仮）新小本大橋補修工事】の開通状況を掲載しました。

● 県別進捗状況

青森県

岩手県

宮城県

福島県

● 路線別進捗状況

三陸沿岸道路
(仙台港北～八戸)CT

宮古盛岡横断道路
(宮古～盛岡)

東北横断自動車道
釜石秋田線 (釜石～花巻)

東北中央自動車道
(相馬～福島)

● 事業促進PPP

● 事業促進PPP

● 関連リンク

▶ 宮城県北高速幹線道路

三陸沿岸道路、横断道、中央道のルートについて

[ページの先頭へ](#)

PDFダウンロード

復興道路の概要

事業進捗状況

開通目標

整備効果事例

各県のお問合せ

リンク

Copyright©2004 Tohoku Regional Bureau Ministry of Land,Infrastructure and Transport, All Rights Reserved.
国土交通省東北地方整備局 定例誌
ホームページに関するご意見・ご感想がございましたら、the-webmaster@mlit.go.jpまでお問い合わせください。リンク・著作権・プライバシーポリシー等については[こちら](#)をご覧ください。アクセスログによる統計分析については、[こちら](#)をご覧ください。東北地方整備局の住所は[こちら](#)をご覧ください。

整備効果事例

復興道路・復興支援道路の整備効果事例発信

○整備効果事例ページでは、路線別に整備効果事例等を掲載しており、今後開通の動きがあった場合など、随時更新予定

3.11 復興道路・復興支援道路情報サイト



このホームページは、「復興道路」「復興支援道路」の進捗状況を国民の皆様方にお伝えするために作成しているものです。

「東北の道路」の総合情報サイト

検索

復興道路の概要

事業進捗状況

開通目標

整備効果事例

各県のお問合せ

リンク

■ 整備効果事例

【三 陸 沿 岸 道 路】

◇ 整備効果事例

- 三陸道延伸・4車線化に伴う企業立地の促進
- 地域経済を支える国内有数の畜産業（鶏卵）を支援
- 地域の基幹産業である水産業の発展を支援
- 世界遺産 橋野鉄鉱山などの観光地域を後押し、三陸の観光支援
- フェリー就航で北海道との広域交流が活性化
- 救急搬送患者の負担軽減と搬送時間が短縮

◇ 関連データ等

- (岩手県内) 交通量及び所要時間の変化 (H22～H27)
- (宮城県内) 交通量及び所要時間の変化 (H22～H29)

【宮 古 盛 岡 横 断 道 路】

◇ 整備効果事例

- 物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援
- 周遊観光圏域を拡大し、観光振興に寄与
- 迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に貢献

◇ 関連データ等

- 交通量及び所要時間の変化 (H22～H28)

【東北横断自動車道釜石秋田線】

◇ 整備効果事例

- 釜石港のコンテナ取扱量・利用企業数の増加に貢献
- 企業の増設・新設が進み、工業団地の拡張も決定
- 自動車関連部品の輸送効率化を支援（さらに1往復可能へ）
- 内陸と沿岸を結ぶ周遊観光が促進し、インバウンド観光も増加
- 「ラグビーワールドカップ2019」の釜石開催を支援

◇ 関連データ等

- 交通量及び所要時間の変化 (H11～H28)

【相 馬 福 島 道 路】

◇ 整備効果事例

- 相馬港と内陸部との連携が強化され、地域産業が活性化
- 救急医療施設への速達性・搬送中の安定性向上
- 交流人口拡大を支援

◇ 関連データ等

- 交通量及び所要時間の変化 (H22～H29)

復興道路の概要

事業進捗状況

開通目標

整備効果事例

各県のお問合せ

リンク

Copyright©2004 Tohoku Regional Bureau Ministry of Land, Infrastructure and Transport, All Rights Reserved.

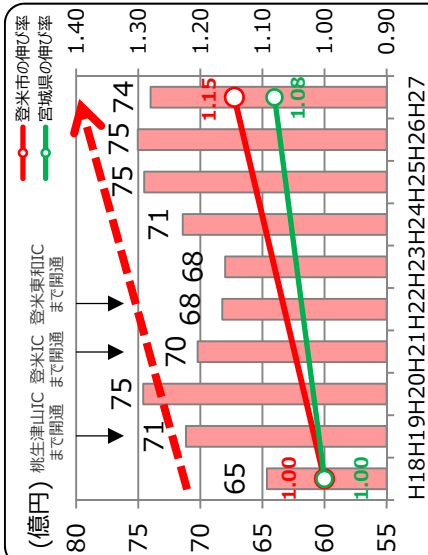
国土交通省東北地方整備局 道路部

ホームページに関するご意見・ご感想がございましたら、thr-webmaster@mlit.go.jpまでお願い致します。リンク・著作権・プライバシーポリシー等については[こちら](#)をご覧ください。アクセスログによる統計分析については、[こちら](#)をご覧ください。東北地方整備局の住所は[こちら](#)をご覧ください。

三陸道延伸・4車線化に伴う企業立地の促進

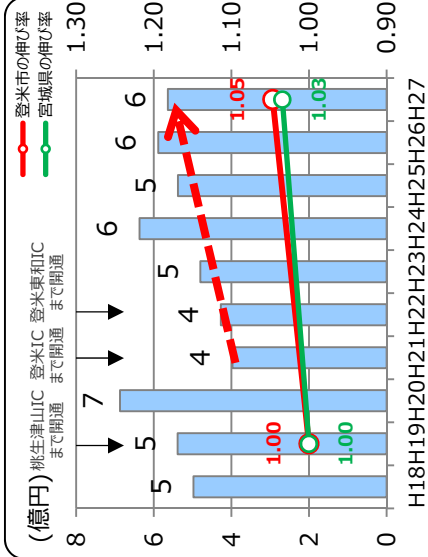
- ・登米市では、三陸道延伸や4車線化等も受け、工業団地の分譲が進む。
- ・登米市では震災後、税収が大幅に落ち込んだが三陸道の整備に併せて順調に回復。
- ・これから供用する三陸道沿線市町村は、企業立地進出を見据えた復興まちづくりなどの取り組みを実施。

登米市の地方税歳入状況の推移



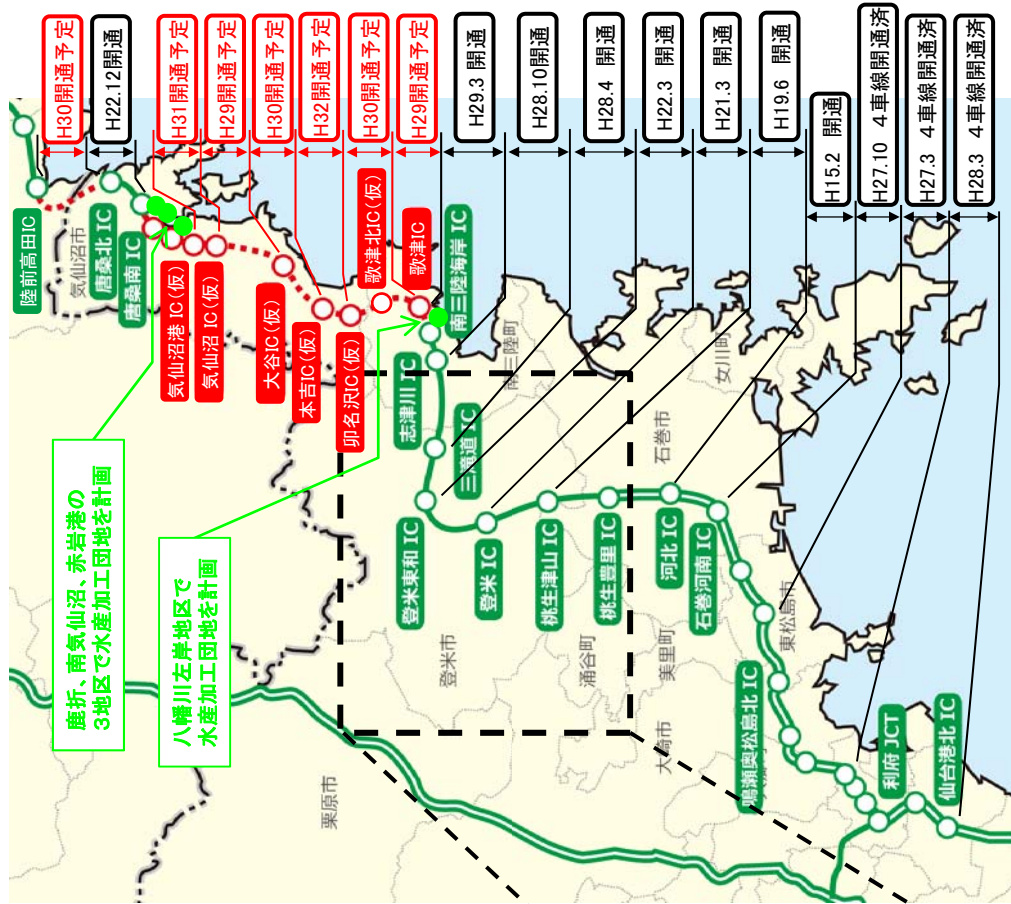
資料：地方財政状況調査関係資料

登米市の市町村税(法人分)の推移

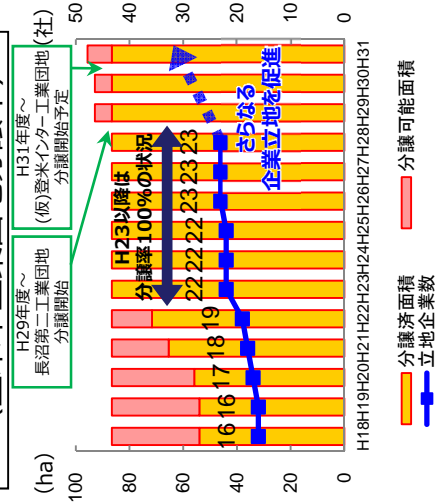


資料：地方財政状況調査関係資料

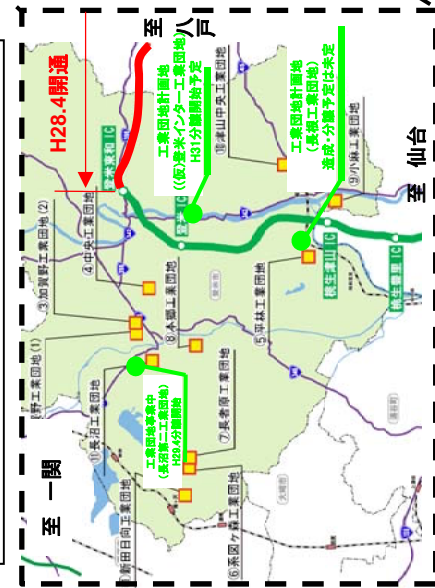
さらにのびる三陸沿岸道路



三陸道開通後急激に増加 (登米市工業団地分譲率)



新規立地が進む登米市工業団地



1) 懇談会の目的

国道115号相馬福島道路のストック効果が最大限発揮できるよう、**事業の進捗状況を関係者間でこれまでに共有すると共に、本道路を最大限に活用するための経済・観光振興等の取り組みについて、関係者が一体となって議論**すること

2) 構成メンバー

- ・ 福島県（建設・商工観光部局）
 - ・ 沿線市町（福島市・相馬市・伊達市・桑折町・新地町）
 - ・ 沿線商工会議所・商工会
 - ・ 国土交通省（福島河内・磐城国道・小名浜港湾）
 - ・ 東日本高速道路株式会社
- ※必要に応じてオブザーバーで参画（J A、観光協会、地元企業）

3) これまでの開催状況

- ・ H26年 3月26日：第1回懇談会
- ・ H27年 8月24日：第2回懇談会
- ・ H27年 12月11日：企業の方々による現地視察（相馬港、阿武隈東道路等）
- ・ H28年 2月 5日：第3回懇談会
- ・ H29年 3月28日：懇談会準備会

4) 連携施策に関する懇談会の主な意見

- 【観光関連】**
- 地域の強みは何かの根本的な議論をすることが必要
 - 沿線地域観光資源の洗い出しが必要
 - 観光情報の相互PR
 - 広域パンフレット等の整備

- 【道の駅関連】**
- 広域的な連携体制を構築
 - 相互連携（観光情報や特産品など）による活動手法の検討
 - 道の駅を活用した相互防災体制の強化

- 【産業・物流関連】**
- 企業誘致や企業間取引拡大
 - 技術連携に関する情報交換を促進
 - 相馬港の利活用
(沿線市町の企業誘致も含めた検討)

懇談会の開催状況



5) 今後の進め方について

- ・ これまでの懇談会における意見を集約すると、「観光」「道の駅」「産業・物流」の3分野に大別される。今後はこれらの3分野において、**具体的な連携施策の進め方など、関係機関と情報共有し議論を進めたい。**

福島・相馬・米沢商工会議所の連携した取り組み①

資料-9

■事例紹介

●相馬・福島・米沢の商工会議所では、交流人口の促進を目的に会報誌での相互PRを継続して行うこととしている。

相馬・米沢広域観光情報

通行料無料!▶【東北中央自動車道がつなぐ】

相馬桜まつり

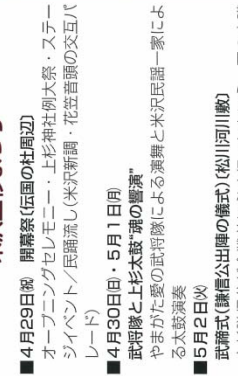


4月16日まで18:00~23:00(ライトアップ)
相馬中村城跡 馬蹄公園
春といえはば。今年も相馬に事の訪れを告げる相馬桜まつりを開催中!
県内でも桜の名所として有名な相馬中村城跡の桜を皆さんにより楽しんでもらおうと、相馬桜まつり実行委員会(構成団体:相馬商工会議所、相馬市観光協会)が毎年実施しております。
中村神社と相馬神社への参道にポンポリを約190本設置。ソメイヨシノや赤橋・黒橋をライトアップし、ポンポリにも明かりが灯ります。開催は4月16日まで。ぜひ、ご家族や友人と相馬の桜を見に、お出かけください。

【お問い合わせ】

相馬桜まつり実行委員会 ☎0244-35-3300

相馬桜まつり



幻想と興衰 現代に蘇る「上杉絵巻」
米沢上杉まつり
■4月29日祝 開祭祭(伝馬の辻馬道)
オープニングセレモニー・上杉神社例大祭・ステーションイベント/民謡流し(米沢新舞・花笠音頭の交互ハバレード)
■4月30日祝 開祭祭(伝馬の辻馬道)
武将隊と上杉太鼓「鼓の響演」
やまがた愛の武将隊による演舞と米沢民謡一家による太鼓演奏
■5月2日祝
武將式(戦艦公出陣の儀式)(松川河川敷)
上杉謙信公が合戦前に必ず行ったという、軍の守護神を招く必勝祈願の儀式を再現。
■5月3日祝
上杉行列(市郎舞一円)
米沢市内の目抜き通りを威風堂々たる上杉軍行列の甲冑武者と鉦鑼豪華なみこし渡御が練り歩きます。
川中島へいで出陣!!
川中島合戦(松川河川敷)
戦国史上最大の死闘といわれた上杉・武田の激突、永春四上原の川中島合戦。上杉謙信と武田信玄の一騎打ちを再現。
【お問い合わせ】
米沢上杉まつり実行委員会
☎0238-22-9607



東北中央自動車道 福島大笹生IC~米沢北IC(無料区間)平成29年度開通!!
「東北中央自動車道 福島大笹生IC~米沢北IC」は、平成29年度に開通が予定されています。特に、同じ間は「無料区間」として通行でき、人・モノ・サービスなどの流れが大きく変化することが予想されます。同道が開通すると福島~米沢間の所要時間が40分から50分に短縮され、さらに国道13号の最高標高より190mも低い位置を通過することから、より安全に安心して通れる道路になります。

【福島商工会議所】会報誌平成29年4月号より

【相馬商工会議所】会報誌平成29年4月号より

東北中央自動車道がつなぐ

福島・相馬・米沢の商工会議所は、3市の地域発展を目的に昭和57年より「福島・相馬・米沢地域経済発展協議会」として活動を続けています。特に、平成29年度に供用開始される「東北中央自動車道」が3市にとつて不可欠な高速道路であることから、その早期完成と重要性を強く働きかけています。このため、3商工会議所では交流人口の促進を目的に会報誌での相互PRを行うことになりました。

【福地】 信夫三山眺まいり

(山の上から眺める三山)

福島市のシンボル山(唐桑山)に隣接する別荘地「信夫三山眺まいり」は、長さ12m、幅1.4m、高さ2.2mの日本一のつらねを100人で担ぎ上げ、福島駅前など市内目抜き通りを練り歩いた後、着実に三山と無事見守るお祭りです。木わらしを是非ご覧ください。

■開催日 2/10(金)・11(土・祝)

10日午前9時大わらし出発→午後3時大わらし奉納(別荘地)

■交通

●電車:JR福島駅下車→福島交通「八木内原」
「もりん2」コース→福島テレビ下車→徒歩30分(別荘地)

●車:福島駅ICから5分(臨時駐車場まで)

【お問い合わせ】

信夫三山眺まいり実行委員会

TEL 0244-525-5750

(11:00~16:00)

【相馬】 いちご狩りOPEN

(相馬市田代地区)

1月15日(日)いちご狩りから相馬市のいちご狩りがスタートしました。水耕栽培のヤシガラもちもち、昨年度よりもまた一段と美味しくなりました。5月末日まで採れどやっていますので、ぜひお越しください。

■入園料

1/15~3/31 大人1,500円(小学生未満半額)

4/1~5/7 大人1,200円(小学生未満半額)

5/8~5/31 大人 900円(小学生未満半額)

※30分券へ参画

■駐車場(無料)は「パークエッセイ」があります。

一人前:200円(車2名乗り)前日まで(要予約)予約に合わせ柔軟に対応します。

(11:00~16:00)

【お問い合わせ】

相馬市観光協会

TEL 0244-38-3535

(10:00~16:00)

【東北中央自動車道】福島・米沢広域観光PR

福島・相馬・米沢の商工会議所は、3市の地域発展を目的に昭和57年より「福島・相馬・米沢地域経済発展協議会」として活動を続けています。特に、平成29年度に供用開始される「東北中央自動車道」が3市にとつて不可欠な高速道路であることから、その早期完成と重要性を強く働きかけています。このため、3商工会議所では交流人口の促進を目的に会報誌での相互PRを継続して行うこととしています。

春のランチで食育ポイント(クーポン)

ハンフレットのクーポンを特許すると、69店舗の参加飲食店で通常1,000円以上のランチが1,000円(税込)で食べられます。各店独自の期間限定メニューやランチをぜひお試しください。

■対象店舗

相馬市: 相馬市観光協会

米沢市: 米沢市観光協会

福島市: 福島市観光協会

【お問い合わせ】

相馬市観光協会

TEL 0244-38-3535

(10:00~16:00)

幻想と興衰 現代に蘇る「上杉絵巻」

米沢に春の訪れを告げる「米沢上杉まつり」が今年4月29日~5月3日盛大に開催されます。

■4月29日(祝)

(主な見どころ)

開祭祭(伝馬の辻馬道)

オープニングセレモニー・上杉神社例大祭・ステーションイベント/民謡流し(米沢新舞・花笠音頭の交互ハバレード)

■4月30日(日)・5月1日(月)

武將隊と上杉太鼓「鼓の響演」(伝馬の辻馬道)

やまがた愛の武将隊による演舞と米沢民謡一家による太鼓演奏

■5月2日(火)

武將式(戦艦公出陣の儀式)(松川河川敷)

上杉謙信公が合戦前に必ず行ったという、軍の守護神を招く必勝祈願の儀式を再現。

■5月3日(水)

上杉行列(市郎舞一円)

米沢市内の目抜き通りを威風堂々たる上杉軍行列の甲冑武者と、鉦鑼豪華なみこし渡御が練り歩きます。

川中島へいで出陣!!

川中島合戦(松川河川敷)

戦国史上最大の死闘といわれた上杉・武田の激突、永春四上原の川中島合戦。上杉謙信と武田信玄の一騎打ちを再現。

【お問い合わせ】

米沢上杉まつり実行委員会

TEL: 0238-22-9607



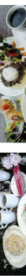
おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



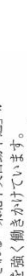
おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



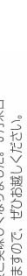
おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



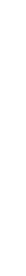
おまかせランチ



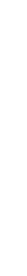
おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ



おまかせランチ

福島・相馬・米沢商工会議所の連携した取り組み②

第48回 **福島のまつり**

特別出演
相馬騎馬隊
米沢鉄砲隊
台湾民族舞踊団

平成29年 **8月4日(金)・5日(土)**

会場 **国道13号 信夫通り**



相馬騎馬隊
米沢鉄砲隊
台湾民族舞踊団

Onozawa Summer Festival 2017

おまつり

あなたの投票が、グランプリを決める

あなたの投票が、グランプリを決める

第8回 Y-1 グルメグランプリ

10,000-17,000 16日(日)入場無料

27店舗 投票予定!

イベント詳細はこちら! 随時更新

第8回 Y-1 グルメグランプリ 出場店27店舗のご紹介

●料金の投票によってグランプリが決まります。Y-1 グルメのイベント内容は予告なく変更になる場合がございます。詳しくは

お楽しみグルメ

おかわり山越餅

おかわり山越餅

おかわり山越餅



東郷の真夏の福島のまつり



相馬騎馬隊の旗馬武者



米沢藩古式砲術保存会の会員

相馬 騎馬武者
米沢 鉄砲隊

わらじまつり パレード出陣

20年ぶり3市共演

東北中央道 観光分野で連携 開通控え

福島で8月

福島市八戸に開れる「福島のまつり」に、東北中央道開通を前に、相馬市、米沢市、山形県米沢市の伝統文化が参加する。相馬市馬道に出陣する騎馬武者、米沢市まつり演武を披露する鉄砲隊、大わらじまつりに参加する「わらじ」の展示を盛りこんだパレードを、8月4日(金)・5日(土)の2日間、相馬市、米沢市、山形県米沢市の観光客など、多くの人々が観覧する。

「福島のまつり」は、20年ぶりに3市共演となる。相馬市、米沢市、山形県米沢市の観光客など、多くの人々が観覧する。相馬市馬道に出陣する騎馬武者、米沢市まつり演武を披露する鉄砲隊、大わらじまつりに参加する「わらじ」の展示を盛りこんだパレードを、8月4日(金)・5日(土)の2日間、相馬市、米沢市、山形県米沢市の観光客など、多くの人々が観覧する。

五福橋保存会の会員約10人が参加する。米沢市、山形県米沢市の観光客など、多くの人々が観覧する。相馬市馬道に出陣する騎馬武者、米沢市まつり演武を披露する鉄砲隊、大わらじまつりに参加する「わらじ」の展示を盛りこんだパレードを、8月4日(金)・5日(土)の2日間、相馬市、米沢市、山形県米沢市の観光客など、多くの人々が観覧する。

【平成29年4月28日】
福島民報より

阿武隈東道路の整備効果

平成29年6月27日
磐城国道事務所

整備効果① 時間短縮・走行性の向上により観光振興に寄与

資料10

- ◆ 相馬市の主要観光施設である「相馬光陽パークゴルフ場」「和田観光苺組合」は、市内・近隣地域だけでなく山形県や中通り方面からも利用者が来訪。
- ◆ 阿武隈東道路開通後、利用者から「到着時間が早まった」、「走行性が良くなった」との声が上がっており、観光施設へのアクセス向上、利用・売上増加につながっている。

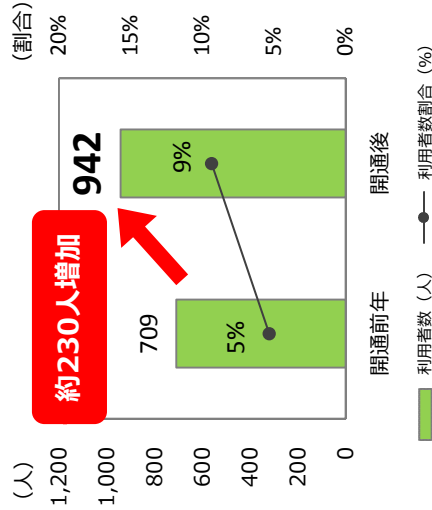
相馬光陽パークゴルフ場

▼ 阿武隈東道路開通をPRした大会



全国から215名が参加

▼ 山形県・福島県内陸部の利用者数推移



出典：相馬光陽パークゴルフ場
 <開通前年> H28.4~5月
 <開通後> H29.4~5月

和田観光苺組合

▼ 山形・福島市方面からの和田観光苺組合アクセスルート



【和田観光苺組合 運営者の声】

- 山形県・中通り方面のお客様を筆頭にご来園されており、お土産を販売している直売所の売上が増加傾向にあり、南相馬市や相馬市の方からも多くご利用いただいています。
- 阿武隈東道路の開通により、お客様から「移動時間が短くなった」「中央分離帯があり安心して走行して来れた」との声があがっています。
- 苺狩りは1～5月がシーズンのため、特に冬の降雪日には通常より来園される方が少ない傾向にあります。阿武隈東道路の開通により、翌シーズンの冬期をはじめとしてより多くのお客様にご来園いただけることを期待しています。
- H30年には相馬市で海水浴が再開される予定です。また、海苔、水産加工品といった海産物の出荷が増えれば、浜も一体となって市内の観光連携を活性化できると期待しています。

(H29.6月和田観光苺組合ヒアリング調査)

【相馬光陽パークゴルフ場管理・運営者の声】

- 遠方にお住まいの利用者へのPRとして、**道路開通記念を冠したタイトルの大会を実施**しています。
- 阿武隈東道路の開通記念として開催した大会では、**山形県や中通り・会津方面の参加者から「到着時間が早まった」「走行性が良くなった」との声があがります。**
- 相馬福島道路の延伸により、内陸方面からのお客様が施設を利用しやすくなることを期待しています。

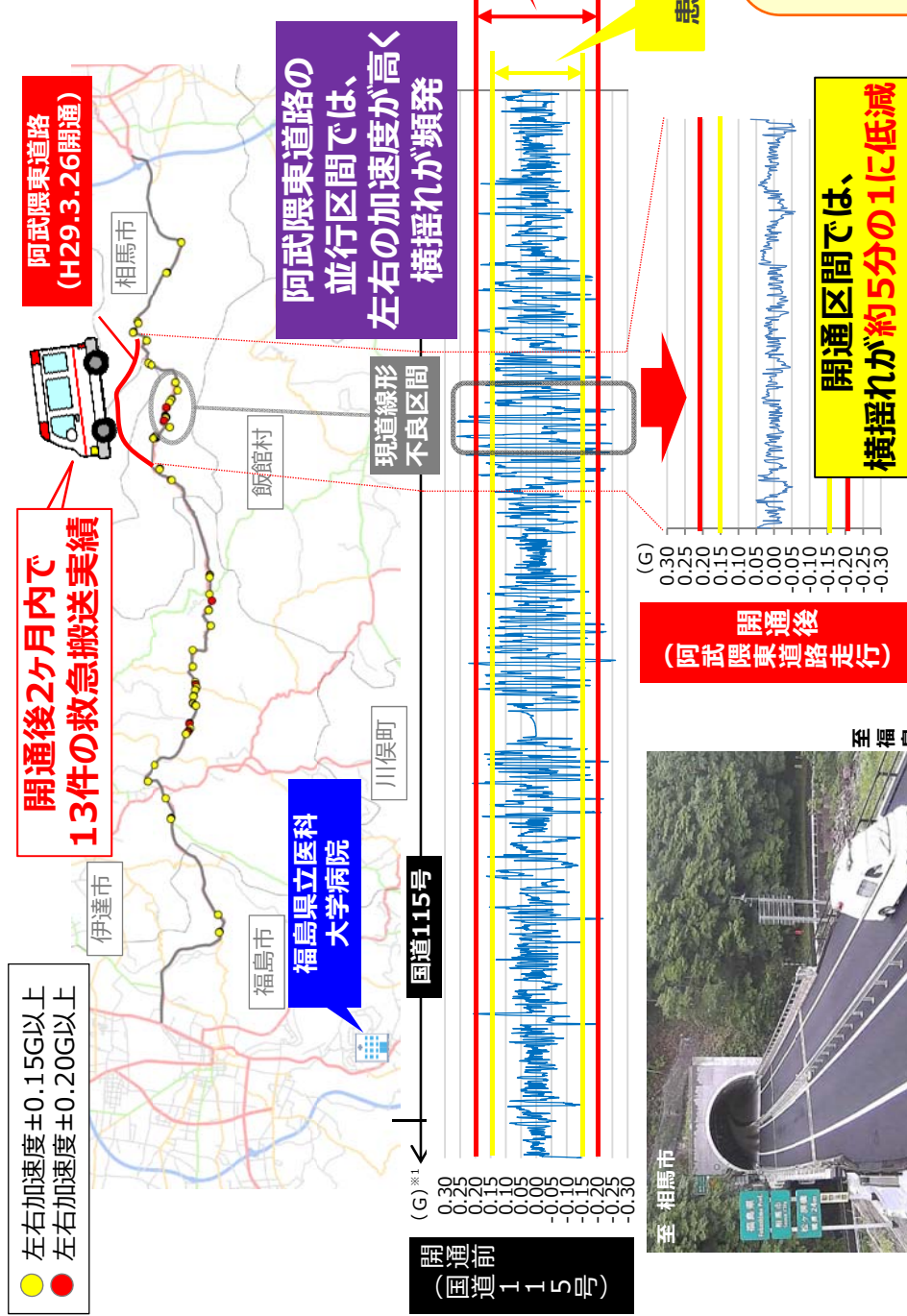
(H29.6月相馬光陽パークゴルフ場ヒアリング調査)

整備効果② 救急搬送中の走行安定性の確保

資料10

- ◆ 阿武隈東道路の開通から約2ヶ月間で13件の救急搬送に阿武隈東道路を利用。
- ◆ 阿武隈東道路の開通により、線形不良区間で特に高い横揺れが生じていた箇所を回避し、走行安定性が確保されたことで、患者や医療スタッフの負担が軽減している。

▼ 国道115号の左右急加速度発生箇所



▲ 国道115号の左右加速度の発生状況

▲ 阿武隈東道路を走行する救急車両

※単位(G)とは、加速度の単位で、重力加速度を1Gと表した単位である。すなわち、1.0G=9.80665m/s²である。

※左右加速度 $\pm 0.15G$ 以上の揺れ、最高血圧の変動量が10mmHgを超過する傾向が強く、患者の安静度に影響を与える。(田中誠柳、池沢潤一、藤井憲英、地域の医療を支援する道路構造分析・評価、第27回日本道路会議)

※左右加速度 $\pm 0.20G$ 以上の揺れ、不快感や嘔吐、骨折などの場合は揺れによる患部の痛みなどの影響(小野貴彦、広島市立大学大学院情報科学研究システム工学専攻、知的制御システム救急車用アクティブ制御ヘッド)

【公立相馬総合病院の声】

- 開通2ヶ月間で阿武隈東道路を2件の救急搬送で使用しました。
- 福島市内から応援に来ていた医師9名の通勤に利用され、道幅が広くなり安全に走行でき、運転の負担が減ったと意見がありました。また、冬の運転においても、負担軽減が期待されています。
- 今後さらに開通区間が延びると救命率の向上が期待されます。
(H29.6月公立相馬総合病院ヒアリング調査)

左右加速度

患者の安静度に影響 $[\pm 0.15G]$

患部の痛みなどの影響 $[\pm 0.20G]$

【相馬地方広域消防本部の声】

- 阿武隈東道路の開通2ヶ月間で、11件の救急搬送時に走行しました。
- 急カーブ、急な坂道が無くなり、患者や医療スタッフの負担が軽減しました。
(H29.6月相馬地方広域消防本部ヒアリング調査)

開通前：救急車プロブ調査結果H28.8.22の救急搬送時

開通後：一般車プロブ調査結果H29.6.16

整備効果③ 阿武隈東道路開通による道路利用の潜在的な変化

- ◆ 相馬市・新地町の通勤や営業等に多くの利用者が阿武隈東道路を利用。
- ◆ 阿武隈東道路の開通後、従来の通勤経路を見直し、国道115号に通勤経路を転換する人が現れている。
- ◆ 安全・安心に走行できることで利用者の精神的・肉体的負担軽減に繋がっており、今後の開通が期待されている。

